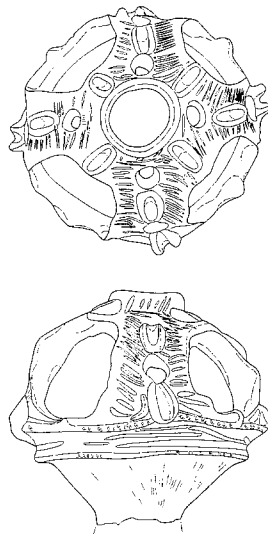


# 市原市文化財センター年報

平成6年度



財団法人 市原市文化財センター

## 序

平成6年度は、公共・民間を含め、確認調査9、本調査3、確認・本調査4、整理・報告書刊行5の21事業について実施しました。

発掘調査では、縄文時代から中世にいたる各種多様な遺構と遺物を検出し、このうち月崎寺の台遺跡は、縄文時代の集落として、これまで調査した遺跡では、市原市の最も南に位置しています。

このほかに、奈良・平安時代では、喜多仲台遺跡や郡本遺跡そして上総国府推定地の調査によって、数々の貴重な成果を得ることができました。

整理・報告事業では、『能満上小貝塚』などの調査報告書を刊行し、郷土の遺跡の研究や保護に少しでも役立つことができればと期待しております。

これらの成果につきましては、遺跡発表会やパンフレット『私たちの文化財』などの普及活動によりまして、これからも市民の皆様方に、積極的に公表していきたいと考えております。

今後もこうした発掘調査や普及研究活動により、埋蔵文化財を市民の皆様が身近に感じ、愛されるよう一層の努力をする所存です。

最後に、日頃よりご指導、ご協力をいただいている関係各位に対しまして、心よりお礼を申し上げます。

平成9年3月31日

財団法人 市原市文化財センター  
理事長 白鳥 一夫

# 目 次

序

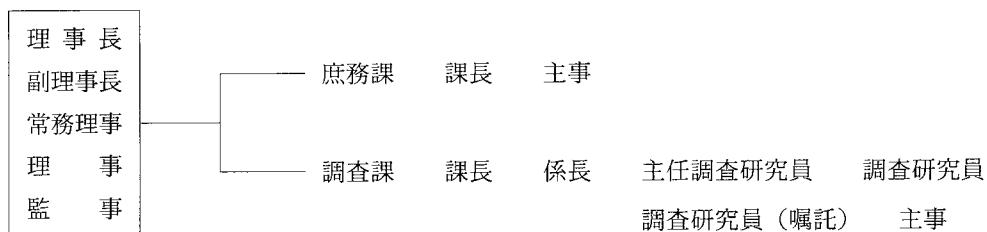
I 機 構 .....	1
II 平成6年度の事業概要 .....	2
III 平成6年度の調査概要等 .....	6
1. 山田橋大山台遺跡 .....	11
2. 村上川堀遺跡 .....	12
3. 喜多仲台遺跡 .....	13
4. 大厩新田前遺跡 .....	15
5. 椎津尾崎遺跡 .....	16
6. 郡本遺跡群（古甲遺跡 第3次） .....	20
7. 西国吉新林遺跡 .....	22
8. 姉崎六孫王原遺跡F区 .....	24
9. 菊間深道遺跡 B地点 .....	26
10. 福増大清水遺跡 .....	28
11. 新生荻原野遺跡A・B・C区 .....	29
12. 月崎寺の台遺跡 .....	30
13. 郡本遺跡（第2次） .....	32
14. 東国吉大門遺跡 .....	33
15. 高倉ママダ上遺跡 .....	34
16. 姉崎六孫王原遺跡F区 .....	35
17. 浅井小向後谷遺跡 .....	38
18. 東国吉寺谷遺跡 .....	40
IV 平成6年度受贈図書一覧 .....	41

# I 機 構

財団法人市原市文化財センターの機構は、役員及び職員から構成されている。役員は、寄附行為の定めにより、理事長、副理事長、理事、監事をもって構成され、平成6年度の職員は、事務職員4名（内市都市公社出向職員1名）、技術職員9名（内市事務従事職員8名）であり、その組織及び氏名は以下のとおりである。

## 1. 組 織

### 役 員



## 2. 役 員

職 名	役 職 名	氏 名	職 名	役 職 名	氏 名
理 事 長	専 任	佐野年男	理 事	市教育委員会教育長	植草久善 6.7.14通去まで 大野 毅 6.9.19より
副理事長	市教育委員会生涯学習部長	山口唯一	理 事	市 企 画 部 長	石井作二
常務理事	専 任	鈴木太郎	理 事	市 総 務 部 長	加瀬睦郎
理 事	國 學 院 大 学 教 授	加藤晋平	理 事	市 都 市 計 画 部 長	田中俊夫
理 事	和 洋 女 子 大 学 教 授	寺村光晴	監 事	市 出 納 室 長	斎藤初男
理 事	郷 土 史 家	木村千春	監 事	市教育委員会総務課長	田邊義夫

## 3. 職 員

所 属	職 名	氏 名	所 属	職 名	氏 名
庶務課	課 長	古 宮 祐 助	調査課	主任調査研究員	田 所 真
	主 事	大 鐘 光 江		調 査 研 究 員	忍 澤 成 視
	主 事	阿 部 茂 之		調 査 研 究 員	小 川 浩 一
調査課	課 長	米 田 耕 之 助		調 査 研 究 員	櫻 井 敦 史
	係 長	田 中 清 美		調 査 研 究 員 (囑託)	半 田 堅 三 子
	主任調査研究員	大 村 直 夫		主 事	高 浦 貞 子
	主任調査研究員	小 出 紳 夫			

## II 平成6年度事業概要

### 1. 理事会の開催

第1回理事会 平成6年5月26日

議案第1号 平成5事業年度事業報告の承認について

議案第2号 平成5事業年度収入支出決算の承認について

第2回理事会 平成6年11月28日

議案第1号 平成6事業年度事業計画の変更について

議案第2号 平成6事業年度補正予算(第1号)について

第3回理事会 平成6年12月15日

議案第1号 職員給与規程の一部を改正する規定について

第4回理事会 平成7年3月27日

議案第1号 平成6事業年度事業計画の変更について

議案第2号 平成6事業年度補正予算(第2号)について

議案第3号 平成7事業年度事業計画について

議案第4号 平成7事業年度収入支出予算について

第5回理事会 平成7年3月30日

議案第1号 嘱託職員就業規則の一部改正について

### 2. 会計監査

平成6事業年度の会計監査は、平成7年5月19日財団法人市原市文化財センター事務室において、斎藤初男、田邊義夫監事により実施された。

### 3. 平成6年度受託事業

番号	継続 又は 新規	事業名	種別	事業内容	面積	契約年月日	(円) 受託金額
1	新規	総合防災センター建設に伴う埋蔵文化財調査	公共	確認調査	3,320㎡	平成6年4月1日	17,879,770
2	新規	市道35号線建設工事に伴う埋蔵文化財調査	公共	確認調査	67㎡	平成6年11月22日	3,356,770
3	新規	市道48号線改良工事に伴う埋蔵文化財調査	公共	本調査	2,171㎡	平成6年8月17日	14,364,380
4	新規	市道3138号線改良工事に伴う埋蔵文化財調査	公共	確認調査	27㎡	平成6年1月5日	1,610,920

番号	継続 又は 新規	事業名	種別	事業内容	面積	契約年月日	(円) 受託金額
5	新規	市道6018号線改良工事に伴う埋蔵文化財調査	公共	整理報告書刊行	-	平成6年6月30日	2,882,970
6	新規	八幡推津線建設工事に伴う埋蔵文化財調査	公共	本調査	1,000㎡	平成6年6月13日	21,998,740
7	新規	上総国府推定地確認調査	公共	確認調査	200㎡	平成7年2月14日	4,999,620
8	新規	市内遺跡発掘調査(市内遺跡)	公共	確認調査報告	737㎡	平成6年7月27日	9,484,240
9	継続	国分寺台遺跡群整理報告事業(根田祇園原貝塚)	公共	整理	-	平成6年7月27日	28,500,000
10	新規	文化の森建設に伴う埋蔵文化財調査	公共	確認調査	2,000㎡	平成6年11月7日	17,301,940
11	継続	(仮称)後楽園市原レクリエーションワールド建設に伴う埋蔵文化財調査	民間	本調査整理	12,260㎡	平成5年11月12日 (8年度まで継続)	55,212,126 (総事業費 115,376,480円)
12	継続	トラックターミナル建設に伴う埋蔵文化財調査	民間	報告書刊行	-	平成5年10月16日	7,221,528 (総事業費 52,466,140円)
13	継続	宅地造成(姉崎東原地区)に伴う埋蔵文化財調査(C地点)	民間	整理報告書刊行	-	平成6年1月12日	1,261,021 (総事業費 6,071,850円)
14	新規	墓地造成に伴う埋蔵文化財調査	民間	本調査整理	1,214㎡	平成6年4月5日	4,143,115
15	継続	マンション建設に伴う埋蔵文化財調査	民間	整理	-	平成6年4月26日 (8年度まで継続)	4,818,881 (総事業費 21,112,940円)
16	新規	電気通信設備設置に伴う埋蔵文化財調査	民間	本調査整理報告書刊行	267㎡	平成6年8月31日	6,471,576
17	新規	市原市市東第一土地区画整理事業(第14地点)に伴う埋蔵文化財調査	民間	確認調査	600㎡	平成6年10月11日	5,707,230
18	新規	市原市市東第一土地区画整理事業(第10地点)に伴う埋蔵文化財調査	民間	確認調査	400㎡	平成6年11月30日	5,065,540
19	新規	宅地造成(姉崎六孫王原地区)に伴う埋蔵文化財調査	民間	本調査	1,336㎡	平成6年10月7日	7,037,581
20	新規	簡易パーキングエリア(道の駅)建設に伴う埋蔵文化財調査	公共	確認調査	560㎡	平成7年1月18日	8,426,244
21	新規	市原市市東第一土地区画整理事業(第15地点)に伴う埋蔵文化財調査	民間	確認調査	883㎡	平成7年1月31日	6,667,103
合		計					234,411,295

#### 4. 研究事業

調査事業、整理事業に係わる日常の研究活動、職員の資質向上を目指す研修を行っている。

##### (1) 外部主催研修会等

###### ① 全国埋蔵文化財法人連絡協議会関係

- ア. 総 会 平成 6 年 6 月 16～17 日 大阪府吹田市  
イ. 研 修 会 平成 6 年 10 月 6～7 日 栃木県宇都宮市  
ウ. 関東ブロック法人連絡協議会 平成 6 年 6 月 2～3 日 茨城県大洗市  
平成 6 年 10 月 13～14 日 埼玉県川越市  
エ. コンピューター等研究委員会関東ブロック地区委員会  
平成 6 年 6 月 9～10 日 千葉県千葉市・四街道市

###### ② 千葉県文化財法人連絡協議会関係

- ア. 総 会 平成 6 年 6 月 28 日 千葉市（ちば共済会館）  
イ. 役 員 会 平成 6 年 6 月 28 日 千葉市（ちば共済会館）  
平成 7 年 3 月 16 日 財団法人千葉県文化財センター  
ウ. 部 会 事務部会 2 回 技術部会 5 回  
エ. 研 修 会 共同研修会 1 回 事務研修会 2 回 技術研修会 1 回

###### ③ 海外研修会 平成 6 年 10 月 20～24 日 韓国

##### (2) 内部研修会

- ① 補助員研修会 平成 6 年 11 月 8 日 芝山町立芝山古墳はにわ館  
② 職員研修会 平成 6 年 11 月 17 日 茂原市立美術館・郷土資料館  
長柄町横穴群

#### 5. 普及事業

##### (1) 千葉県文化財法人連絡協議会

遺跡調査研究発表会

平成 7 年 1 月 29 日（日） 於 千葉市文化センター

##### (2) 遺跡発表会

平成 7 年 3 月 5 日（日） 於 市原市五井会館

調査遺跡の成果報告

- ① 月崎寺の台遺跡 ② 郡本遺跡 ③ 喜多仲台遺跡 ④ 椎津尾崎遺跡

特別講演

- ① 市原の古墳と埴輪 川村学園女子大学講師 車崎 正彦

- ② 人物埴輪の顔面とその装飾 早稲田大学講師 市毛 勲

(3) 啓発普及パンフレットの刊行

「私たちの文化財」21、22

6. 印刷物の刊行

「市原市文化財センター年報（平成元年度、平成2年度）」

「市原市姉崎東原遺跡C地点」財団法人市原市文化財センター調査報告書第54集

「市原市能満上小貝塚」財団法人市原市文化財センター調査報告書第55集

「市原市郡本遺跡（第2次）」財団法人市原市文化財センター調査報告書第56集

「市原市中高根南名山遺跡」財団法人市原市文化財センター調査報告書第57集

7. 平成6年度決算報告

平成6年4月1日から  
平成7年3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額			決 算 額	差 異	備 考
	当初予算額	補正予算額	合 計			
基本財産運用収入	240,000	△ 53,000	187,000	187,479	△ 479	
事 業 収 入	201,452,000	33,985,000	235,437,000	234,978,555	458,445	
雑 収 入	3,201,000	△ 163,000	3,038,000	3,047,401	△ 9,401	
当期収入合計	204,893,000	33,769,000	238,662,000	238,213,435	448,565	
前期繰越収支差額	47,470,000	△ 4,189,000	43,281,000	43,281,633	△ 633	
収 入 合 計	252,363,000	29,580,000	281,943,000	281,495,068	447,932	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額			決 算 額	差 異	備 考
	当初予算額	補正予算額	合 計			
受 託 事 業 費	171,937,000	36,572,000	208,509,000	207,088,848	1,420,152	
研究普及事業費	3,090,000	1,270,000	4,360,000	4,176,176	183,824	
一 般 管 理 費	14,500,000	4,380,000	18,880,000	18,070,163	809,837	
消 費 税 支 出	2,110,000	790,000	2,900,000	2,737,600	162,400	
固定資産取得支出	300,000	300,000	600,000	598,481	1,519	
財政調整基金積立預金支出	700,000	△ 93,000	607,000	607,151	△ 151	
退職給与引当預金支出	0	1,270,000	1,270,000	1,269,000	1,000	
予 備 費	2,000,000	△ 1,900,000	100,000	0	100,000	
当期支出合計	194,637,000	42,589,000	237,226,000	234,547,419	2,678,581	
当期収支差額	10,256,000	△ 8,820,000	1,436,000	3,666,016	△ 2,230,016	
次期繰越収支差額	57,726,000	△ 13,009,000	44,717,000	46,947,649	△ 2,230,649	



### Ⅲ 平成6年度調査概要等

平成6年度の発掘調査は、確認調査9事業、本調査3事業、確認・本調査4事業の計16事業を実施した。

ここ数年の特徴として確認調査が多い傾向がみられる。本年度も山田橋大山台遺跡33,200㎡、福増大清水遺跡50,000㎡、東国吉大門遺跡8,830㎡など大規模な対象地をもつ遺跡が多い。また、本年度から市東地区の開発にかかわる確認調査を開始している。

本調査では、縄文時代早期末葉の炉穴群が荻原野遺跡B区などから、また、中期の竪穴住居跡が月崎寺の台遺跡（3軒）や荻原野遺跡A・B区（2軒）で検出されている。月崎寺の台遺跡では、加曽利E期の大型の深鉢を伴った小竪穴5基も調査され、市内で調査した遺跡としては最も南に位置している。

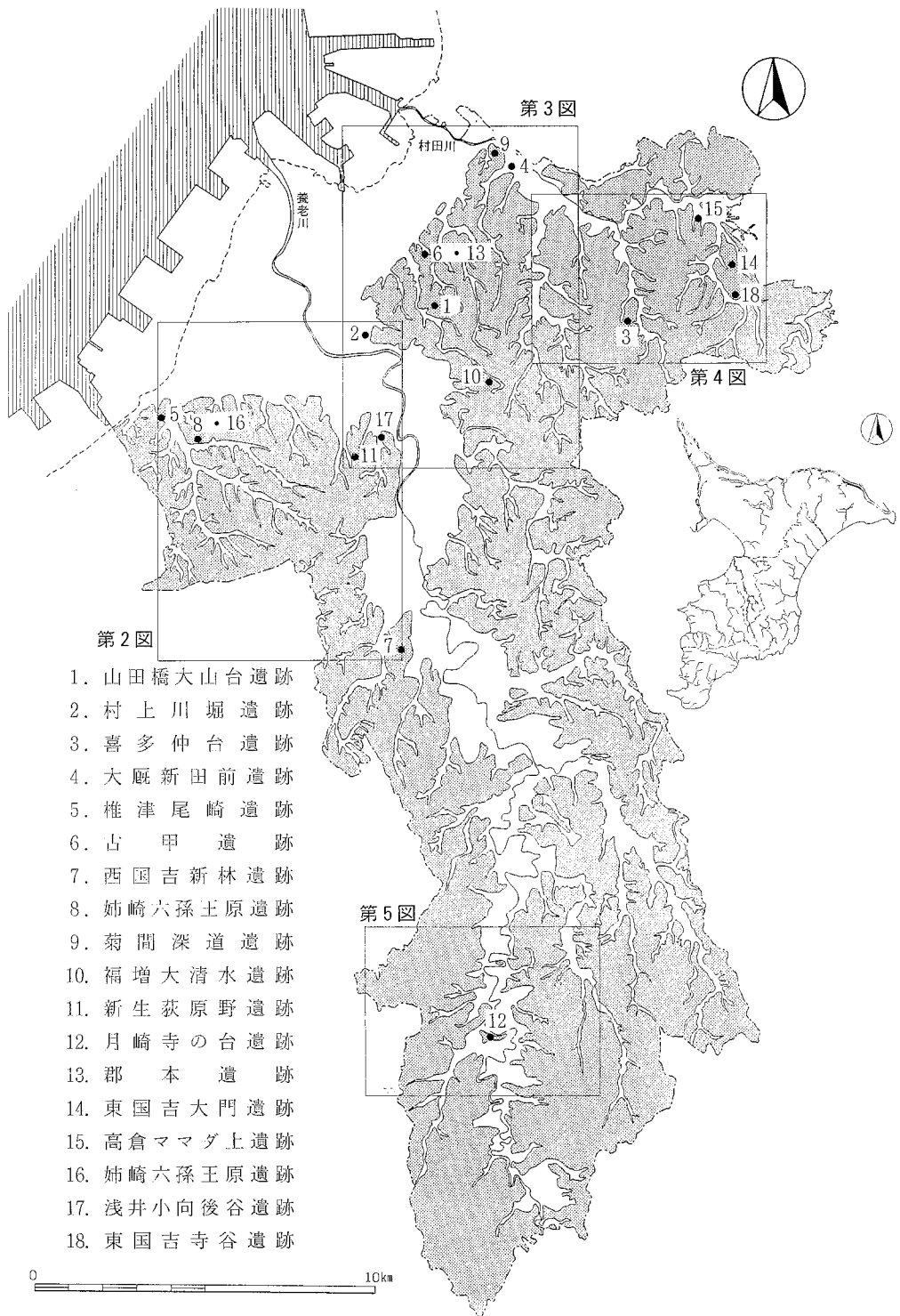
姉崎六孫王原遺跡では、弥生時代中期の四隅にブリッジをもつ方形周溝墓が9基、7世紀代の前方後方墳である六孫王原古墳の西側周溝の一部を検出している（市内遺跡調査分）。また、古墳の調査では、この他に、養老川中流域左岸の吉野台古墳群中の一基（63号墳）の一部が調査され、木棺直葬の主体部より鉄鏃などが出土している。さらに荻原野遺跡C区では、墳丘が既に無く残存状況が悪いが、長軸約31mの前方後円墳を検出している。中高根古墳群に含まれると考えられる。

奈良・平安時代では、多くの成果がみられる。喜多仲台遺跡では、平安時代の竪穴住居跡8軒、掘立柱建物跡4棟などが調査され、「大新」「大幡」などと書かれた墨書土器や馬具、銅製の鈴などが出土し、南側に隣接する4年度の調査地区を含め、当遺跡が特殊な性格の集落であることがうかがえる。郡本遺跡では、竪穴住居跡8軒、土壙墓16基などが調査され、特に平安時代の長方形の住居跡は、カマドが無く、鉄滓を多く出土している。当地は市原郡家推定地にも考えられており、遺跡の重要性を再確認した調査であった。さらに椎津尾崎遺跡では、平安時代の大型のすり鉢状土坑に良好な貝層が堆積しており、この時期に形成された貝塚は少なく、極めて貴重な発見であった。

上総国府推定地の調査では、郡本古甲遺跡を200㎡調査し、奈良から平安時代にいたる竪穴住居跡3軒（内1棟は、小鍛冶工房）と掘立柱建物跡2棟などを検出している。

また、椎津尾崎遺跡からは、中世の地下式竈2基や方形竪穴状遺構7基などが検出され、台地端部には椎津城跡が存在することより、墓域と城郭との関連を考えると興味深い調査である。

以上の他に、整理、報告書刊行では、「能満上小貝塚」の出版は、当地域の縄文時代中期末～晩期中葉における集落について豊富で興味深い内容を提示している。さらに、上総国分寺台遺跡群の調査では、本年度から国庫補助事業として整理作業を開始することになり、まづ根田祇園原貝塚から着手している。



1. 山田橋大山台遺跡
2. 村上川堀遺跡
3. 喜多仲台遺跡
4. 大厩新田前遺跡
5. 椎津尾崎遺跡
6. 占甲遺跡
7. 西国吉新林遺跡
8. 姉崎六孫王原遺跡
9. 菊間深道遺跡
10. 福増大清水遺跡
11. 新生荻原野遺跡
12. 月崎寺の台遺跡
13. 郡本遺跡
14. 東国吉大門遺跡
15. 高倉ママダ上遺跡
16. 姉崎六孫王原遺跡
17. 浅井小向後谷遺跡
18. 東国吉寺谷遺跡

第1図 平成6年度調査遺跡位置図







# やま だ ば し おお やま だい 1. 山田橋大山台遺跡

事業名 総合防災センター建設に伴う埋蔵文化財調査（確認調査）

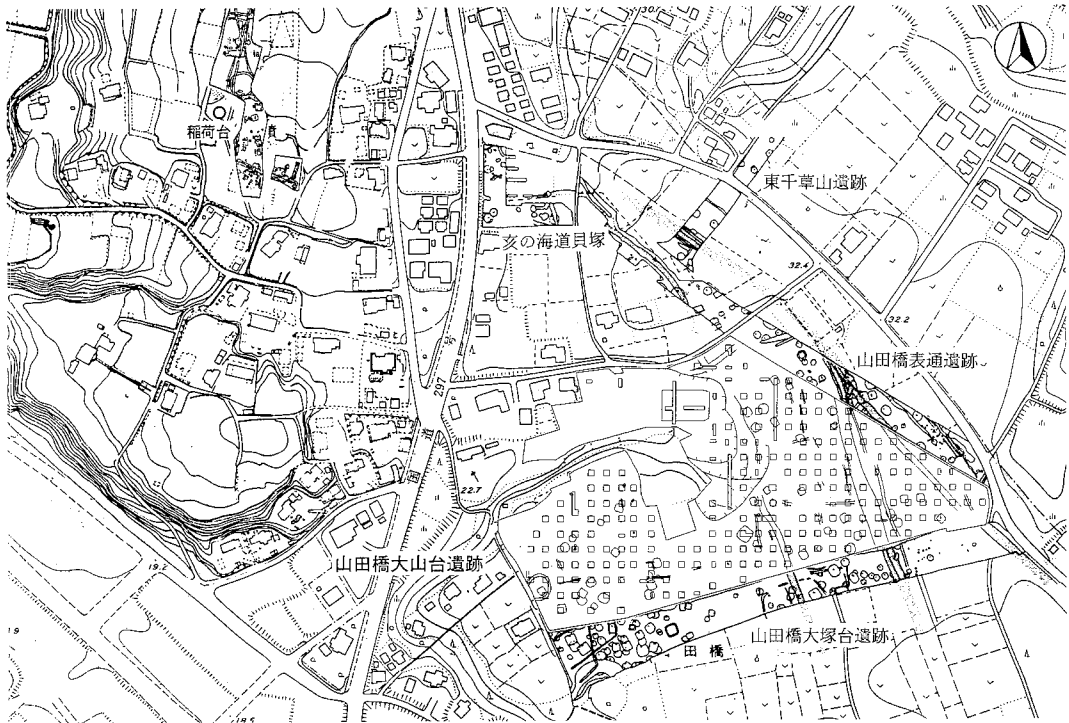
所在地 市原市山田橋字大山台340-1他

調査期間 平成6年4月1日～平成6年8月15日

調査面積 33,200㎡のうち3,320㎡（上層）、28,500㎡のうち285㎡（下層）

調査概要 遺跡は、市原台地を開析する谷奥の台地上にあり、隣接地北側は表通遺跡、南側は大塚台遺跡としてすでに発掘調査がおこなわれている。これらは、それぞれ中心の小字名を遺跡名としているが、地形的にも、時期的にも、連続する一連の遺跡としてとらえられる。

調査の結果、弥生時代後期を中心とする竪穴住居跡44軒、縄文時代炉穴5基、ほか道路跡、古墳周溝、土坑などが検出された。竪穴住居については、4×4mのグリッドを基準としたこと、隣接の大塚台遺跡で多数の遺構群が検出されている南西部を一部省略していることなどから、全体として100～120軒程度になるものと予測された。北西部の谷部については、段掘により現地表より約7mまで掘り下げたが、国分寺台区画整理時の残土および斜面部の樹木の伐採にともなうと思われる木材の堆積にはばまれ、ようやく残土投棄前の水田面に達するにとどまった。下層については、IV層前後より礫群等を4グリッドより検出している。（大村 直）



山田橋大山台遺跡と周辺遺跡・地形図（1/5,000）

## 2. 村上川堀遺跡

事業名 市道35号線建設工事に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市村上字川堀1628-1地先他

調査期間 平成6年12月1日～平成6年12月16日

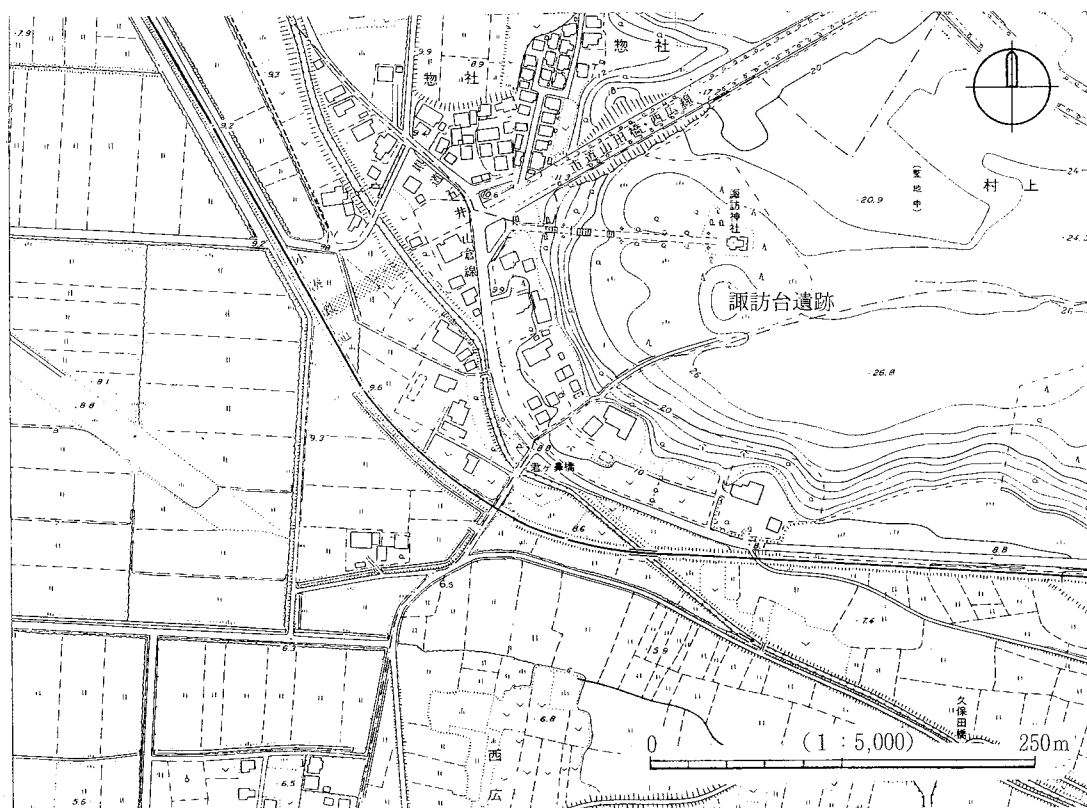
調査面積 670㎡のうち67㎡

調査概要 村上川堀遺跡は、市道35号線建設工事に伴って、発掘調査が行われた。本遺跡は養老川流域の西側にある氾濫原にともなう、標高約9mの微高地上に、位置する。北東側には、国分寺台の台地上に、諏訪台・天神台遺跡や上総国分僧寺が存在し、北西側の微高地上では、8世紀から9世紀にかけての掘立柱建物跡が検出された村上遺跡群（白幡前地区・後口地区）が存在する。調査対象面積は、670㎡であり、このうちの10%にあたる67㎡について、トレンチを設定することにより、調査を行った。

調査の結果、検出された遺構としては、平安時代に至ると考えられる溝等が、検出された。

なお、本遺跡は平成7年度に本調査が行われており概要については下記文献によられたい。

「村上川堀遺跡」『第11回市原市文化財センター遺跡発表会要旨』1996年（小川浩一）



村上川堀遺跡位置図

### 3. 喜多<sup>き</sup>仲<sup>た</sup>台<sup>なか</sup>遺<sup>だい</sup>跡(2次)

事業名 市道48号線改良工事に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市喜多字仲台72番地他

調査期間 平成6年9月1日～平成6年12月5日

調査面積 2,171.1<sup>5</sup>㎡(本調査)

調査概要 喜多仲台遺跡は、市の北部を流れる村田川上流域の支流によって作られた幅200～

300mの細長い台地の平坦部分全域に広がっている。遺跡周辺には、多竜台貝塚や潤井戸古墳群、犬成城跡などが所在している。

発掘調査は、この台地中央部分を横断する道路建設に伴うもので、対象面積11,200㎡のうち、平成4年度にその5分の4にあたる約

9,000㎡の本調査を行なった。今回は、その残りの部分2,171㎡を実施し、対象地全域の調査を終了した。

平成4年度の調査では、縄文時代の竪穴住居跡1軒、平安時代の竪穴住居跡17軒、掘立柱建物跡9棟、地下式墳2基・土坑などが発見された。また、出土した遺物で注目されるものとしては、平安時代の竪穴住居跡からは、出土例があまり見られない鉄製馬具や銅製の鈴、「大新」・「大幡」・「市」などの墨書土器などが発見されている。今回の調査では、平安時代の竪穴住居跡8軒、掘立柱建物跡4棟、土坑等が発見された。時期については、9世紀前半を中心とした時代で、前回の調査で検出された竪穴住居跡と同時期のものとしてとらえることができる。

出土遺物としては、鋤の刃先・刀子・砥石などが発見された。また、今回も「大新」・「大幡」と書かれた墨書土器が竪穴住居跡・掘立柱建物跡から発見されている。

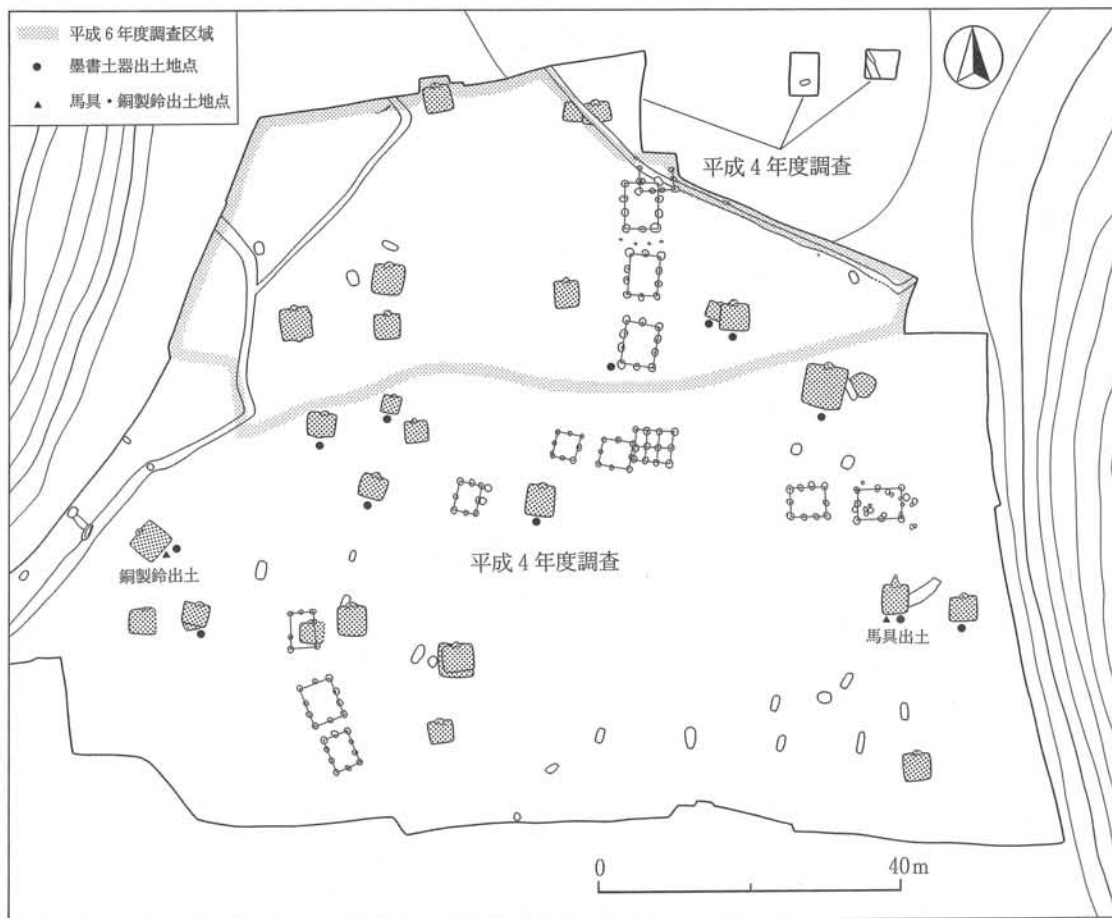
以上の様に発掘調査によって、喜多仲台遺跡は平安時代前期頃の一時期に営まれた単一の集落跡であること。また、鉄製馬具や銅製の鈴などの出土や多様な文字が見られる墨書土器の発見が特筆される。

(小出紳夫)



喜多仲台遺跡の位置(1:20,000)





喜多仲台遺跡全体図 (1 : 1,000)



喜多仲台遺跡全景 (上空より撮影)



喜多仲台遺跡全景  
(南側上空より撮影)

#### 4. 大 厩 新 田 前 遺 跡

事業名 市道3138号線改良工事に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市大厩1108-1番地他

調査期間 平成7年1月9日～平成7年1月17日

調査面積 270㎡のうち27㎡

調査概要 大厩新田前遺跡は、市道3138号線改良工事に伴って、発掘調査が行われた。遺跡の立地は、村田川中流域左岸の、河岸段丘面に位置する。標高は、約9mである。遺跡の周囲には、西北に東関山古墳や、菊間天神山古墳が存在する菊間古墳群や、菊間遺跡群が存在する。また、菊間遺跡群の北側には、菊間手永貝塚等も存在する。調査対象面積は、270㎡であり、このうちの10%にあたる27㎡を、トレンチを設定することにより、調査を行った。

調査の結果、検出された遺構としては、覆土中に、陶磁器片を数点含む、近世溝1条が検出され、他に、時期不明の土坑や、溝等の存在が、認められた。 (小川浩一)



大厩新田前遺跡位置図

## 5. 椎津尾崎遺跡

事業名 八幡椎津線建設工事に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市椎津1050-2地先

調査期間 平成6年7月1日～平成6年10月6日

調査面積 1,000㎡（本調査）

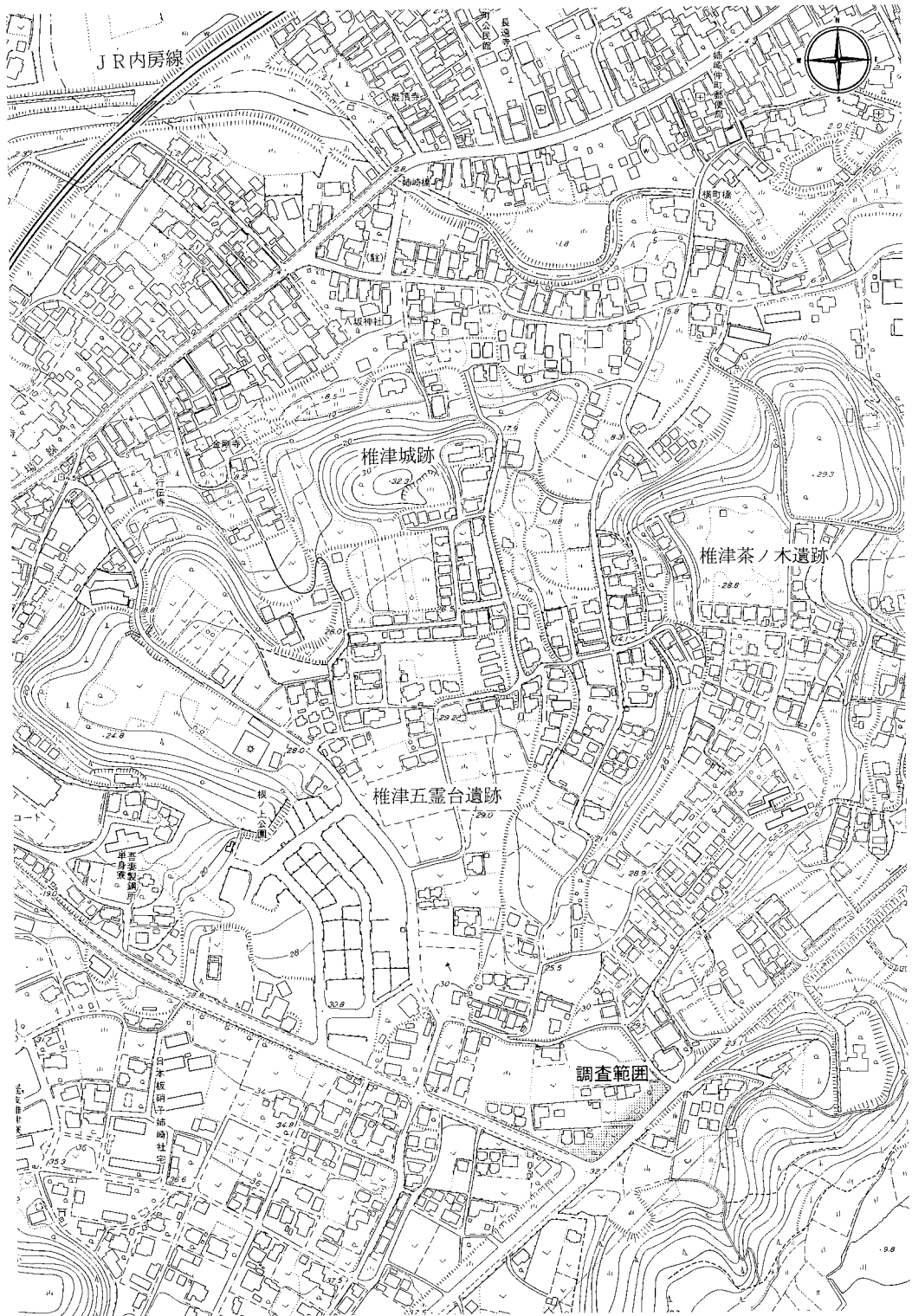
調査概要 遺跡は養老川下流域の沖積低地と海岸平野を望む台地上に位置する。この地域は戦国期の椎津城跡の南側に隣接する。調査の結果、平安時代の井戸状遺構1基のほか、中世の地下式壙2基、方形竪穴状遺構7基、土坑24基、溝4条、多数のピットなどが検出された。

井戸状遺構は幅約4m、深さ約3mを測る大規模なもので、アサリ・ハマグリ・カガミガイなどを中心とする純貝層が検出された。貝層中から出土したロクロ土師器や台付甕の年代から、貝層形成期を9世紀初頭頃と推定する。井戸状遺構のほかは中世遺構が主体である。遺構群で捉えると、調査区北辺に地下式壙が纏まり、南側には土坑とピット群が認められる。現道を挟んだ南側調査区は空間があり、S字状に横断する溝より南側から再びピットが密集し、土坑・方形竪穴状遺構群が検出されている。方形竪穴状遺構はピット群より古い。1基の床面より13世紀前葉の同安窯系青磁皿片が出土しているため、中世前期に遡る可能性がある。ピット群は方形プランで、人為的埋め戻しによる埋没であり、建物配列を復元できるものは殆ど無い。古瀬戸後期様式Ⅳ期の卸皿が出土しているので、戦国前半期（15世紀）の遺構群と推定する。先述の区画溝も時期的に伴うものであろう。地下式壙及び土坑群は葬送関連遺構の可能性があり、ピット群とほぼ同期に機能したものと思われる。遺物については全体に出土量が少なく、表土採集を含め、瀬戸美濃系陶器24点、常滑製品20点、中国輸入磁器2点、在地土器4点、南伊勢系土器1点、合計51点のみである。殆ど甕、鉢、皿などの日常雑器で、13世紀に若干のピークがあるほか、15世紀中葉から末にかけての生産品である。

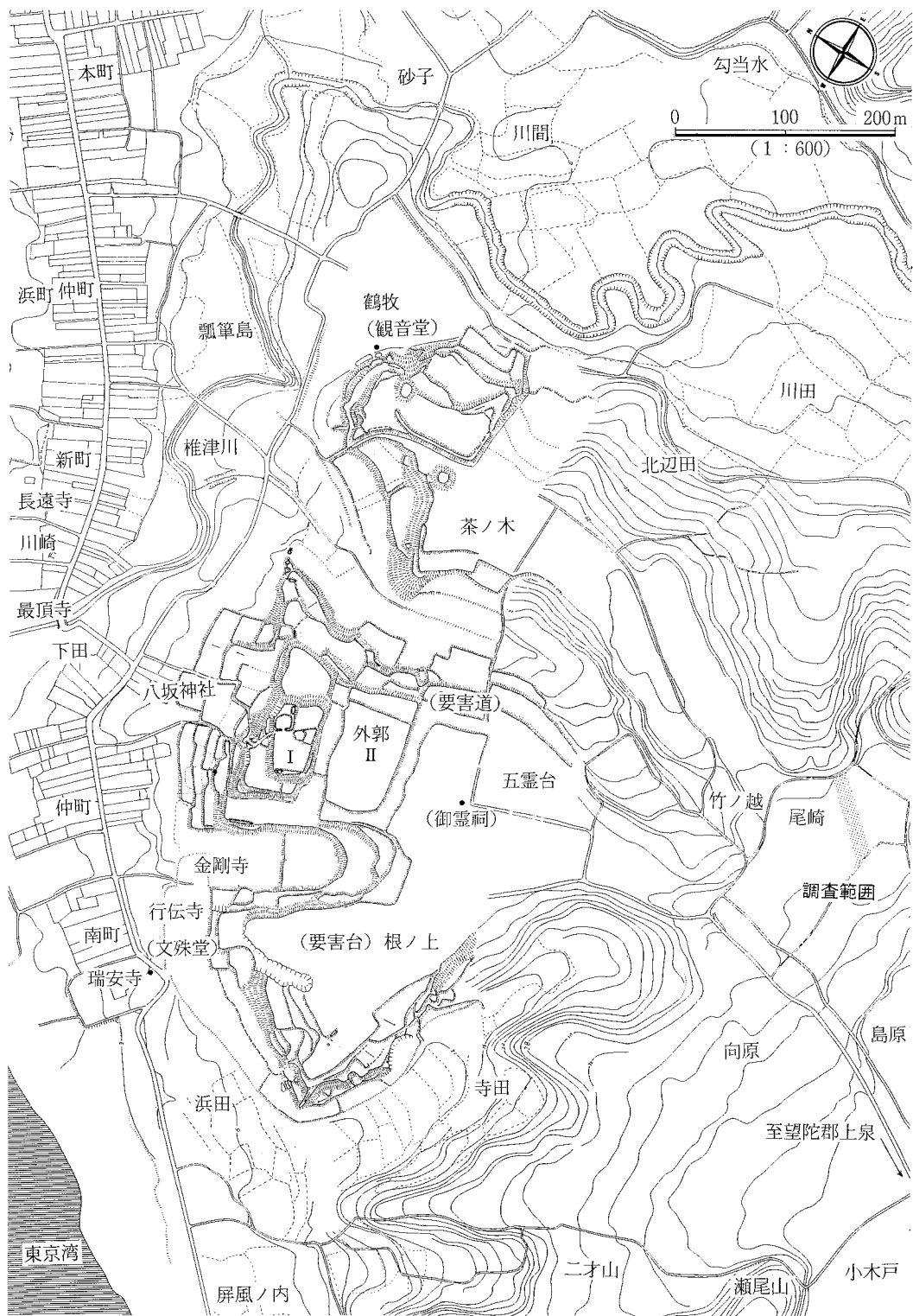
調査区は椎津城城郭部の外側にあり、望陀郡からの街道に接する。遺跡の北側は五霊台と呼ばれ、室町期の五輪塔が所在する。従って尾崎周辺が15世紀の墓域であった可能性は強い。ピット群は椎津城に付随する集落遺構と見なし得るが、椎津城拡張期の16世紀には廃絶している様だ。これは城に伴う集落が椎津城麓の海岸砂堆列上に新展開する宿町内へ再編成された結果なのかもしれない。このように城館が集落を付随させる場合、政治・経済的発展性の強い城に対し、生活を依存する度合の高い人々が主体を為すものとし、小領主階層を中核に自治的村落を構成したであろう農業民とは別に考察する必要がある。（櫻井敦史）

注釈

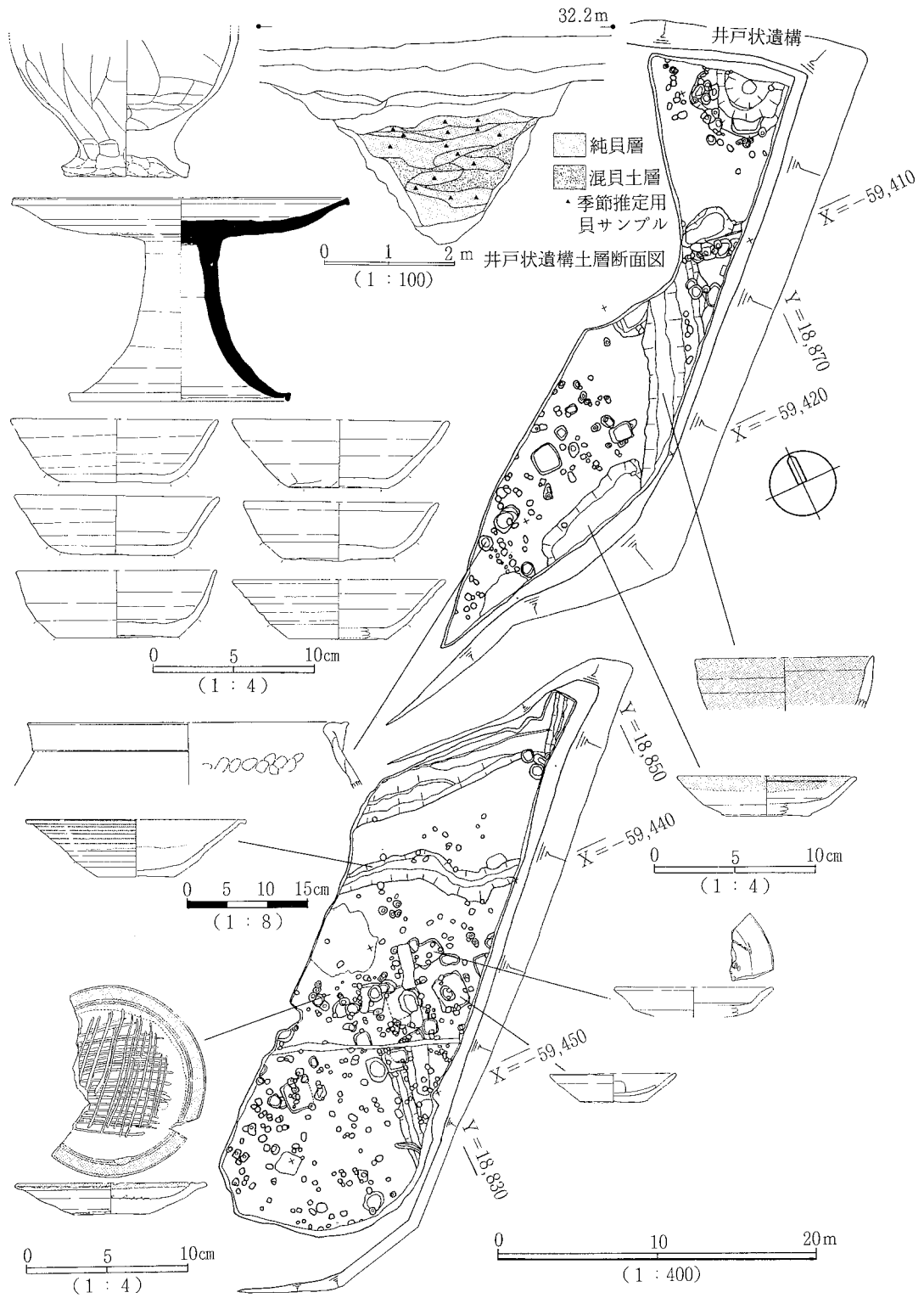
(1) 椎津城縄張り図は尾崎遺跡調査期間中に現地踏査し作成。



推津尾崎遺跡周辺地形図（1：5,000）



椎津尾崎遺跡と椎津城縄張り図<sup>(1)</sup>



椎津尾崎遺跡遺構配置図

## 6. 郡本遺跡群 (古甲遺跡 第3次)

事業名 平成6年度 上総国府推定地確認調査委託

所在地 市原市郡本二丁目352番地他

調査期間 平成7年3月6日～平成7年3月31日

調査面積 200㎡ (確認調査)

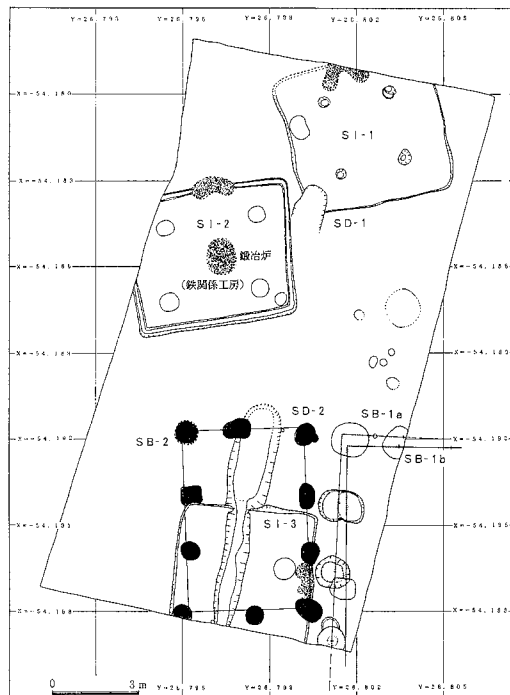
調査概要 上総国府推定地確認調査事業は、市原市教育委員会（ふるさと文化課）の委託事業であり、平成元年度より実施している。郡本地区での調査は平成3年度より継続的に実施しているものであり、今年度は4年目の調査にあっている。しかし、前年度（平成5年度）には地中レーダー探査法による東西溝の追跡を試みたこともあり、今年度の調査が、発掘調査としては「第3次」ということになる。（第1図参照）

平成6年度の調査では、調査区を1カ所に絞り、面的に遺構の配置や規模・変遷などを明らかにすることを目的とした。このことから、対象地については遺構の密度が比較的に高く確認されている平成3年度調査区「B区西側トレンチ」の西側隣接地を選定した。

今回の調査によって確認された主な遺構は、竪穴式建物跡3軒（SI-1～SI-3）掘立柱建物跡2棟（SB-1～SB-2）溝跡2条（SD-1～SD-2）であった。（第2図参照）



第1図 遺跡の位置と周囲の地形

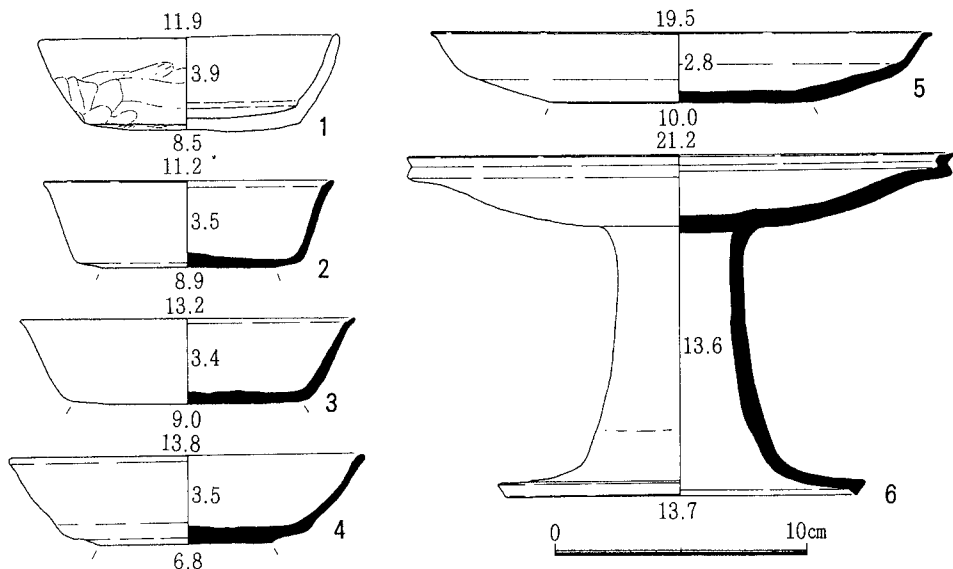


第2図 平成6年度調査区全図

竪穴式建物跡3軒(SI-1~SI-3)は、いずれも一辺5~5.5mの方形の平面プランを有するもので、SI-1とSI-2は北竈、SI-3は東竈であった。また更に、SI-1とSI-2は建物の振れや規模が近似していた。但し、SI-1とSI-2は近接しており、併存しないものと考えられる。SI-3の建物の振れは、SI-1~SI-2とは異なっている。しかし、その一方で竈のほかに炉を有する点においてSI-2と共通している。SI-2の炉の周囲からは、炭や鉄片・鉄滓・砥石が出土しており小鍛冶工房であることが明らかである。奈良時代中頃の竪穴式建物跡と考えられる。

掘立柱建物跡2棟(SB-1~SB-2)は、調査区の南東側で確認されている。SB-1は、南北列三間分、東西列一間分を確認した。想定される柱間は、南北八尺等間東西七尺であり、南北棟の建物であることを示している。(その後平成7年度調査で確認している。)また、南北列南側二間の柱掘り方から、建物の建替え(a→b)が確認された。但し、北西隅柱の柱掘り方には建替えによる顕著なずれが観られないことから、この建物は北西隅柱の位置を起点として、a(座標北に対して約3度東に振れる建物)からb(ほぼ座標北に近い向きを持つ建物)に建替えられたものと推定される。SB-2はSB-1の西側に隣接して建てられている。柱の並びや柱間間隔にやや乱れが認められるが、七尺等間・梁行二間・桁行三間・身舎のみの南北棟切妻造建物であったと想定される。建物の振れはSB-1-bに近似している。(座標北に対して、1~2度西に振れている。)但し、軒の出を考慮するとSB-1とSB-2は併存しえない。また、SB-2の柱掘り方が、SI-3の床面を切っていることから、SI-3→SB-2であることが判明している。

以上のことから遺構の変遷を整理すると、SI-1~SI-2→SI-3→SB-1-a→SB-1-b→SB-2→SDとすることができる。SI-2は八世紀中葉。SDは十世紀以降であろう。(田所 真)



第3図 SI-2出土遺物



## にし くに よし しんばやし 7. 西国吉新林遺跡

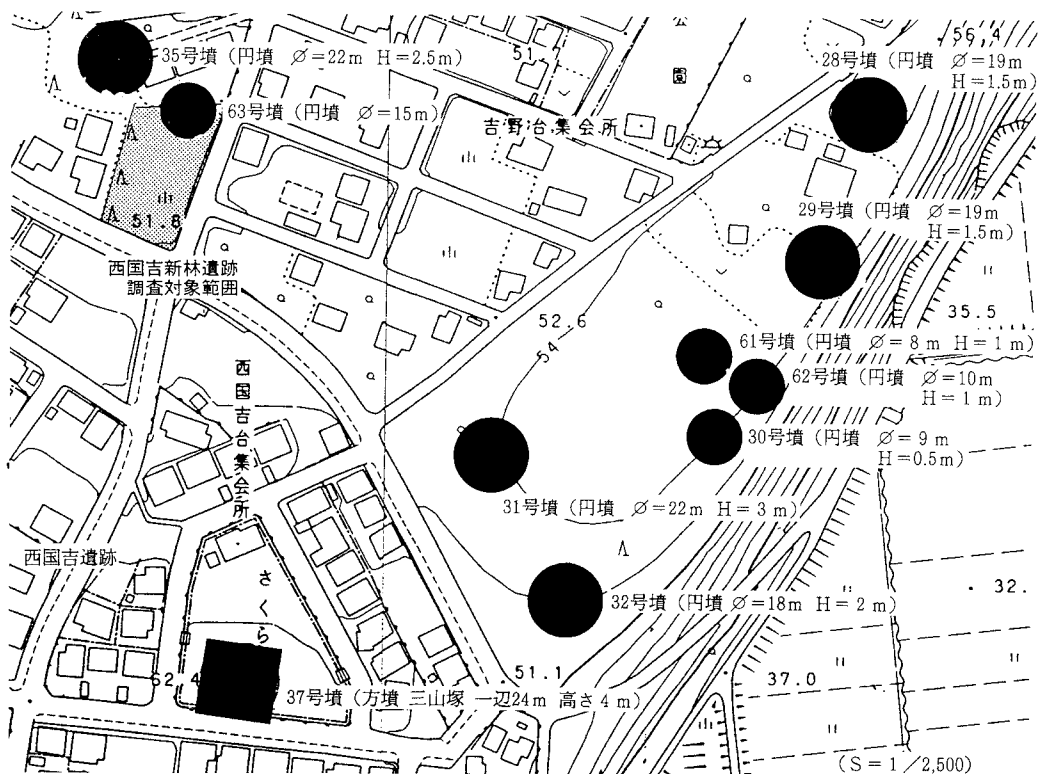
事業名 平成6年度 市原市内遺跡発掘調査

所在地 市原市西国吉字新林1,667-7他

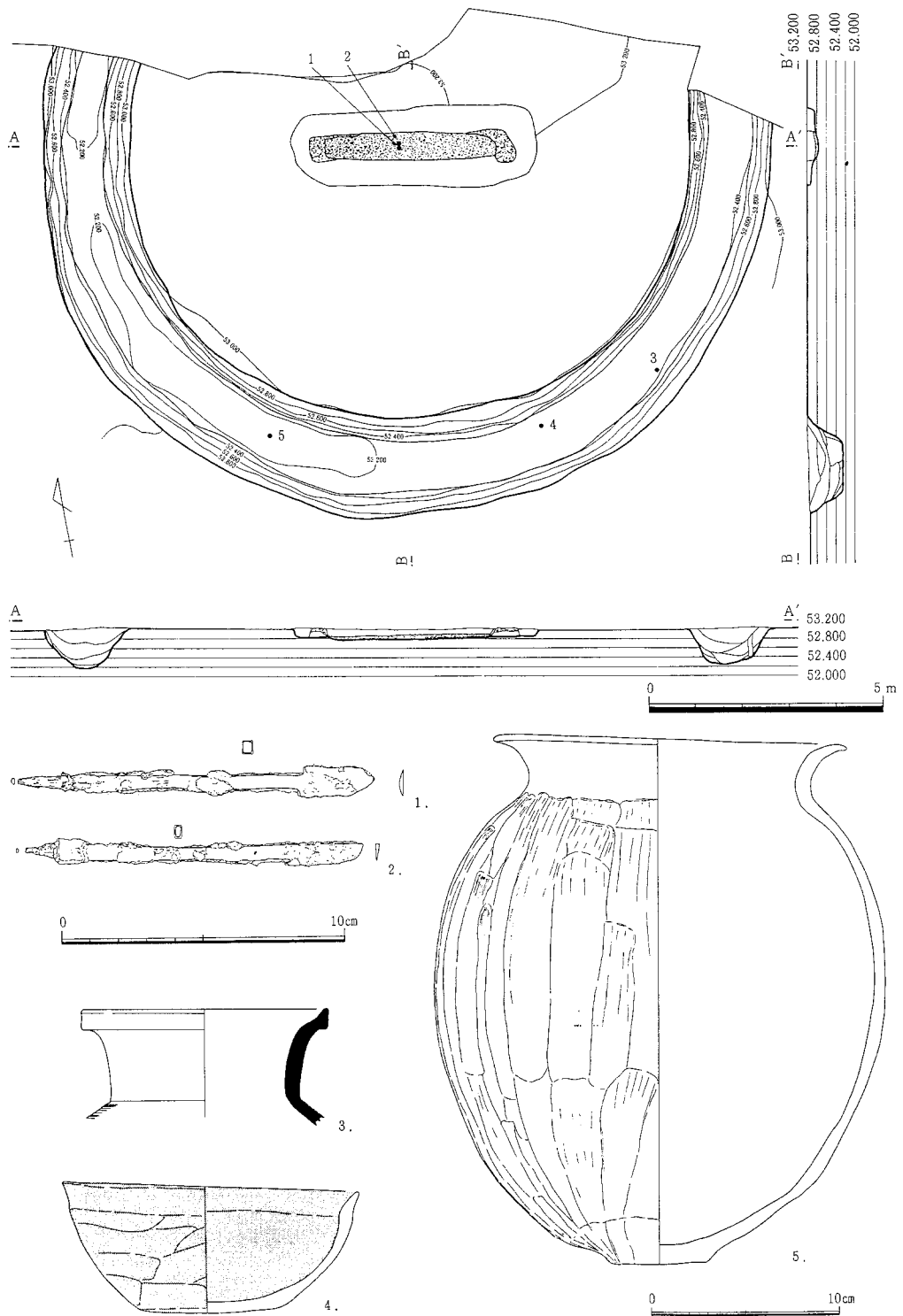
調査期間 平成6年8月4日～平成6年8月23日

調査面積 1,213㎡のうち120㎡（確認調査）160㎡（本調査）

調査概要 西国吉新林遺跡は、養老川左岸中流域の台地上に位置し、市原市指定文化財「吉野1号墳」(前方後円墳)で知られる「吉野古墳群」中に含まれている。調査によって確認された遺構は、木棺直葬を主体部とする円墳1基(吉野63号墳)のみであった。新発見の古墳である。古墳の規模は、周溝外側確認面で15.6m前後、周溝内法寸法では12mと推定される。埋葬施設は、円墳のほぼ中央部分に東西方向で設置された木棺直葬1カ所のみであった。周溝内土壌は、確認されていない。土壌の規模は、長さ5.10m幅1.50mを計測する。また、埋葬に用いられた木棺は、長さ3.58m幅0.33m前後のものであり、小口を粘土によって押さえていた。副葬品は、鉄鏃2点(主体部内)須恵器・土師器(周溝内)であった。5世紀末～6世紀前半の築造であろう。尚、詳細は報告書によらねたい。(田所 真)

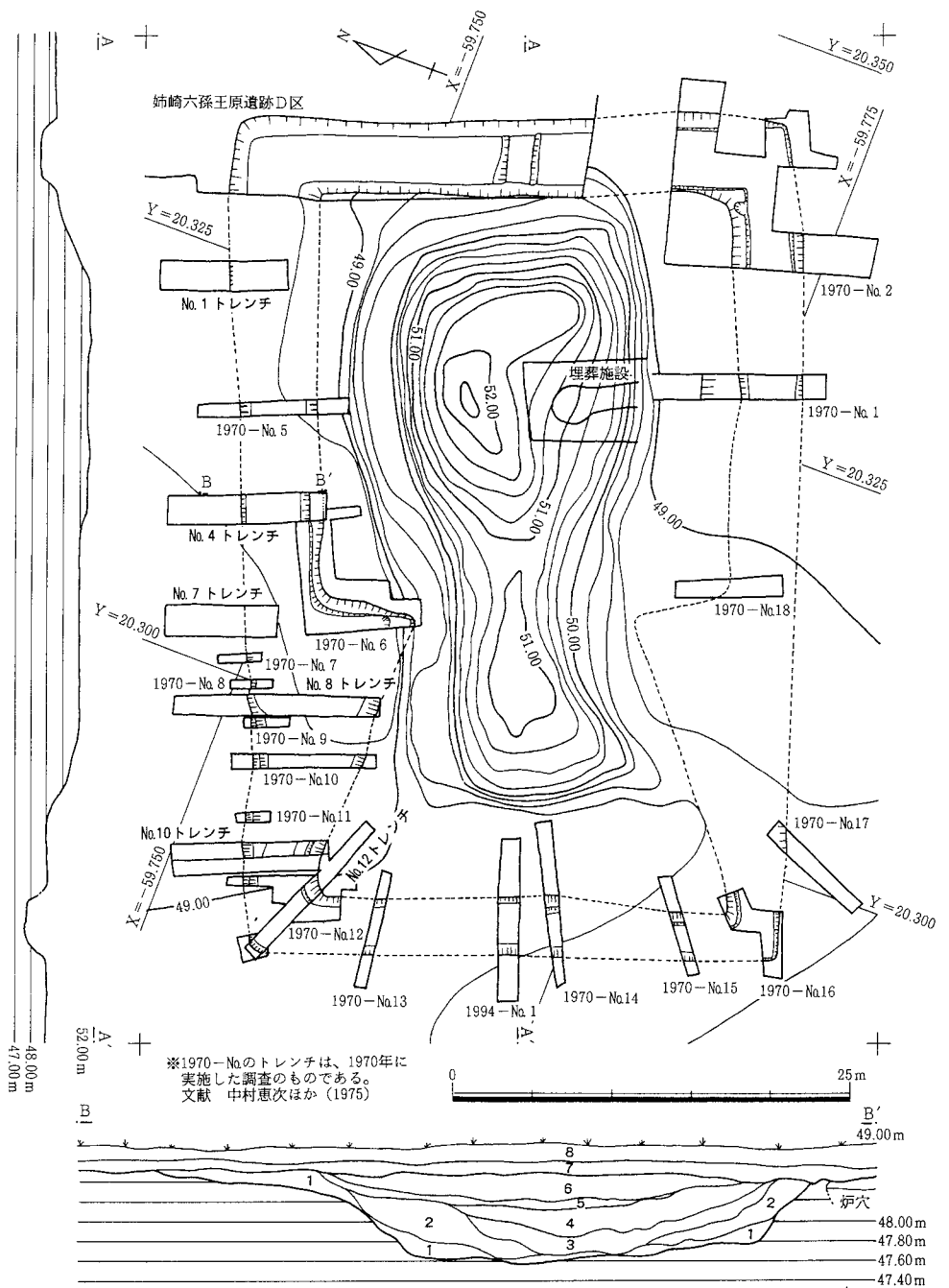


第1図 西国吉新林遺跡の位置と周囲の地形



第2図 吉野63号墳と出土の遺物





- No. 4 トレンチ土層説明
1. ローム土のブロックが混入する褐色土。
  2. 暗褐色土。褐色土が混入する。
  3. 明褐色土にローム粒が混入する。
  4. 黒色土に褐色土が混入する。
  5. 黒色土。しまりが良く、通路として利用されたか。
  6. 褐色土中に暗褐色土が混入する。焼土も含んでいる。
  7. 褐色土にローム土が混入する。
  8. 耕作土。

長軸にみる古墳の規模

周溝外側立上がり	52.53m	周溝内側立上がり	45.13m
周溝外側底面コーナー	51.15m	周溝内側底面コーナー	45.70m

第2図 姉崎六孫王原古墳全体図

## 9. 菊間深道遺跡B地点

事業名 平成6年度 市原市内遺跡発掘調査

所在地 市原市菊間字深道1,973の一部

調査期間 平成6年11月21日～平成6年12月13日

調査面積 2,392㎡のうち240㎡（確認調査）

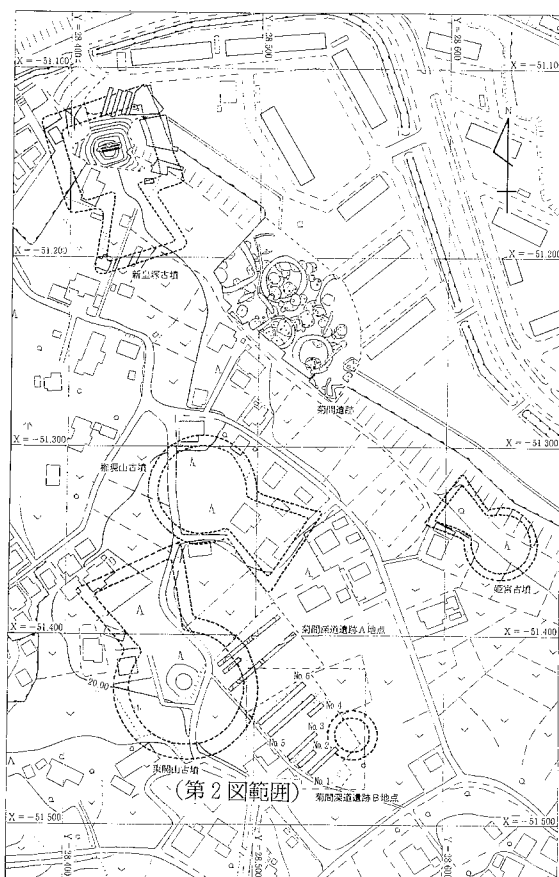
調査概要 村田川左岸の台地上先端部を中心として、「久々麻」の国造が築造した菊間古墳群が遺されている。菊間深道遺跡はこの菊間古墳群の中に位置する。

菊間深道遺跡周辺では、B地点の調査以前に、A地点（西側隣接地）ならびに菊間遺跡・新皇塚古墳（調査区北側250m前後）の調査が行われてきており、台地の北側先端部分に5世紀中葉の方墳（前方後方墳の可能性も指摘されている）が築造されているほか、弥生時代中期から古墳時代前期の集落と、古墳時代後期ならびに平安時代の集落が営まれていることが、明らかとなってきている。また、当該地域には、西側の東関山古墳、北側の権現山古墳（別称 北野天神山古墳）、北東側の姫宮古墳などの分布が知られている。

調査は、A地点の調査同様、任意のトレンチを設定して実施した。

確認された遺構は、弥生時代中期から近世（菊間藩関連遺構）までのものである。竪穴式建物跡、土塼、円墳、溝等が確認されたが、240㎡の範囲に合計42遺構以上の遺構が確認されており、重複関係が複雑で、遺構数や時期を特定することが困難であった。遺跡の広がり、全域に及んでいるものと予測される。

尚、No.4トレンチにはロームブロックを用いた地業が、確認されている。周囲の出土遺物や地元の伝承などを考慮に入れて、菊間藩関連の遺構と推定した。また、No.3トレンチ南端の竪



第1図 遺跡の立地と周囲の状況

穴建物跡 (SI-0001) については、遺構埋土を掘り下げて調査を行った。平安時代前期の建物であった。

今回の調査で出土した遺物は、縄文土器 (後期)・弥生式土器 (中期～後期)・土師器 (古墳時代前期～)・須恵器 (古墳時代～平安時代)・鉄製品 (近世)・陶磁器 (近世)・礫・石器であり、94%弱が土師器であった。

各遺物の出土頻度の傾向は、土師器が No.1～2、6 トレンチに集中する傾向にあるのに対し、須恵器は No.1～2 に、陶磁器は No.2～3、5 に集中する傾向が観られた。

出土遺物で観るかぎり、時期的に連続しているとは考えにくく、

I 期 - 弥生時代中期～古墳時代前期

II 期 - 古墳時代後期～奈良時代初頭

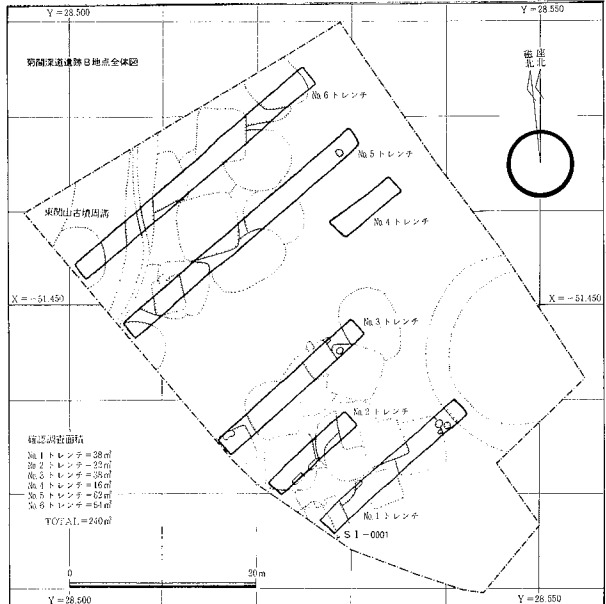
III 期 - 平安時代前期

IV 期 - 近世末以降

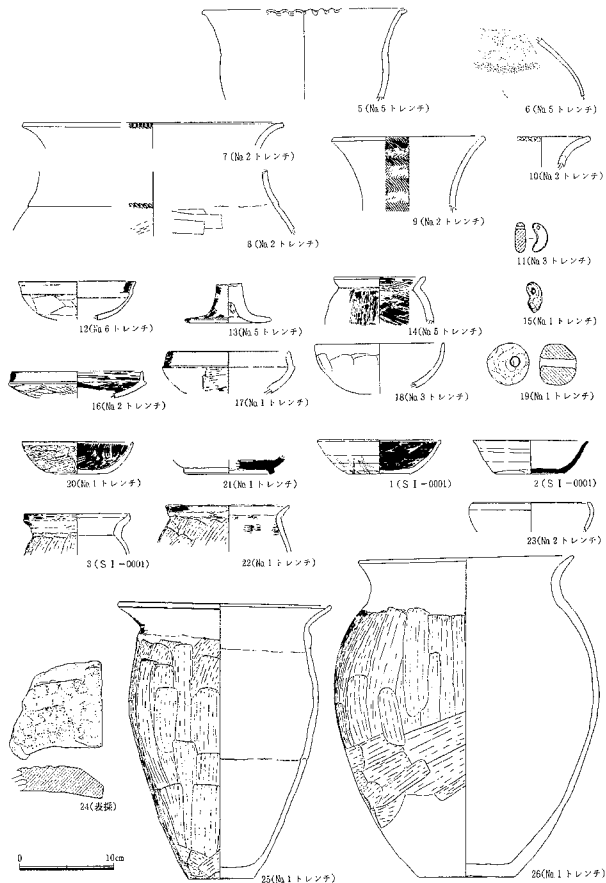
4 時期に大別されよう。特筆すべき遺物に、土製勾玉や双孔円盤を観る。

遺構の密度や広がり、時期や種類等に「菊間遺跡」との類似性が観える。従って、当該台地上の集落展開という観点から菊間深道遺跡は、菊間遺跡群として一括的に捉えるべきであるかもしれない。

尚、A 地点の調査で確認されている V 字溝の延長は、認められない。環濠集落に係る溝であるならば、集落の広がりはどのようなものであったらうか。今後の調査に、期待したい。(田所 真)



第 2 図 トレンチの配置と確認された遺構



第 3 図 出土遺物の概要

## 10. 福増大清水遺跡

事業名 文化の森建設工事に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市福増大清水130番地他

調査期間 平成6年12月16日～平成7年3月7日

調査面積 50,000㎡のうち2,000㎡（確認調査）

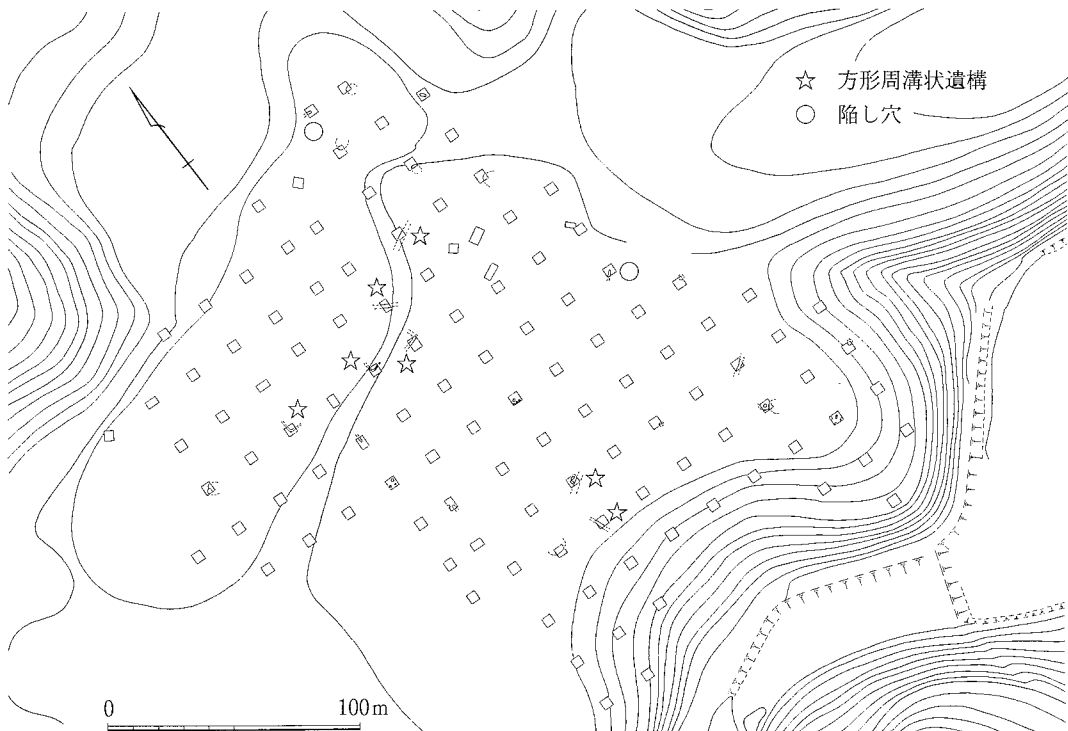
調査概要 文化の森の予定地は、山倉ダムの南部にあたる標高62m前後の台地上に所在する。樹枝状の小支谷に囲まれ幾つかに別れた台地のうち、南端の台地平坦面を対象に4×4mのトレンチを等間隔に配置して確認調査が行われた。

中央部の約13,000㎡は、野球のグラウンドとして造成工事が行われており、多くの遺構を確認することはできなかったが、縄文時代の陥し穴と炉穴を各1基検出したほかグラウンド以外の場所からも住居跡、炉穴、陥し穴が2～4基検出されている。

縄文時代以降の遺構としては、ほぼ全域にわたって方形に巡る溝が8カ所で検出されている。古墳時代終末期から奈良時代にかけての方形周溝状遺構と考えられる。

先土器時代については、グラウンド中央付近からフレイクを1点検出したにとどまる。

方形周溝状遺構については、北西に存在する福増古墳群、南東で調査された武士遺跡での方形周溝状遺構との関連が目される。  
(半田堅三)



福増大清水遺跡確認トレンチ配置図

## 11. 新生荻原野遺跡 A・B・C 区

事業名 (仮称) 後樂園市原レクリエーションワールド建設に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市新生字荻原野

調査期間 平成6年4月1日～平成6年8月31日

調査面積 18,782㎡

調査概要 荻原野遺跡は、養老川中流域左岸台地上に位置し、小谷が複雑に入り込む標高60～

80mの地点に立地する。

当遺跡の本調査は、昭

和63年～平成元年にA・

C地区、平成5年度に

A地区、そして今年度

は残りのA・B・C地

区を実施した。

調査の結果、縄文時

代早期末葉の炉穴群13

ヶ所、中期の竪穴住居

跡2軒、陥し穴13基、

古墳時代後期前方後円

墳1基(墳丘は残存し

ていない)、奈良時代

の方形周溝状遺構(方

形区画墓)5基、中世

～近世の溝や道路状遺

構8条以上などを検出

している。なお、荻原

野遺跡の昭和63年度か

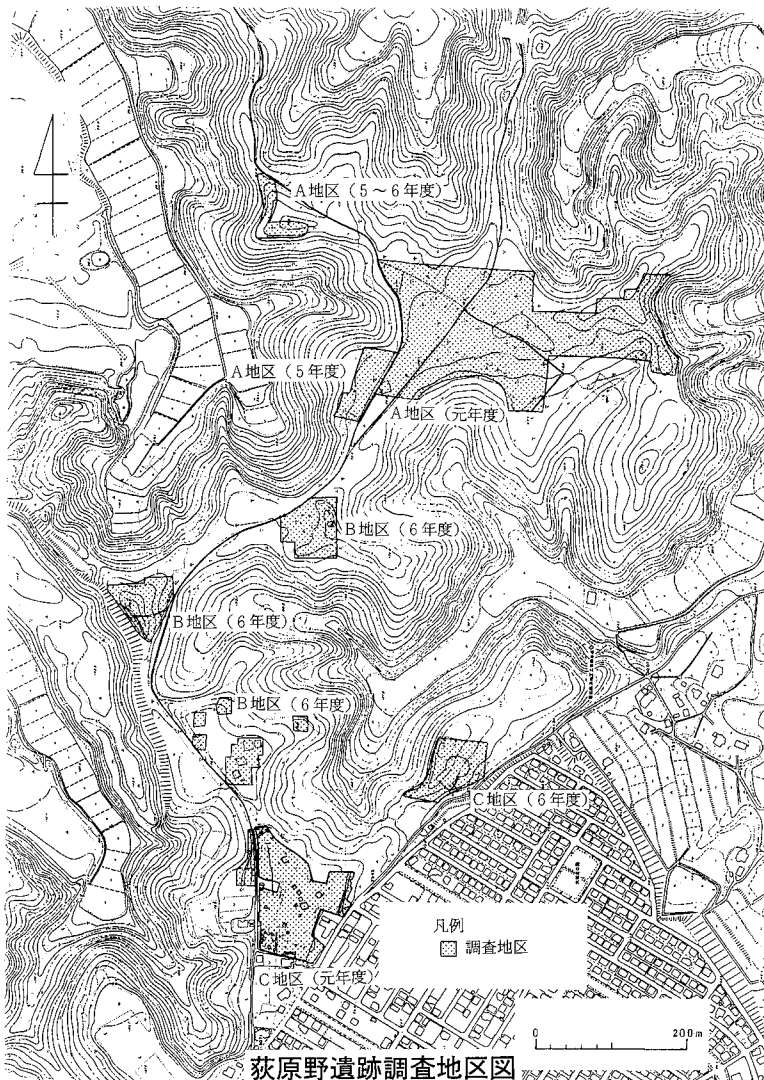
ら平成6年度までのA

～C地区の本調査につ

いての報告書は、平成

9年度に刊行を予定し

ている。(田中清美)



荻原野遺跡調査地区図



## 12. 月崎寺の台遺跡

事業名 墓地造成工事に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市月崎寺の台1096-2

調査期間 平成6年4月8日～平成6年5月17日

調査面積 1,214㎡（本調査）

調査概要 市原市役所から約30km南の小湊鉄道月崎駅北東に、大きく東に屈曲した養老川に北、東、南の三方を囲まれ、西も養老川の支流にほぼ分断された東西に細長い三角形の独立丘陵がある。周辺の田畑との比高差40～50mの急斜面に囲まれた標高95mのこの台地上には東に栄昌寺が建ち、他の部分は畑や梅林として利用されている。この永昌寺の墓地が北に拡張されることになり、平成5年度に確認調査が行われ多くの縄文土器片や土錘などが検出され、周囲の畑でも土器片や黒耀石片が数多く採集されている。

本調査の結果、北側では約1mほどの表土の下で地山のローム層が顔を出し、遺構らしいものは小さなピットがわずかに認められる程度だった。一方南側では、地表から30cm程の表土下で多量の土器片が集中しており、約10×12mの遺物包含層となっている。遺物包含層の上面で、黒耀石の小破片や石鏃が1m程の範囲に集中している石器製作址が4ヶ所で発見された。

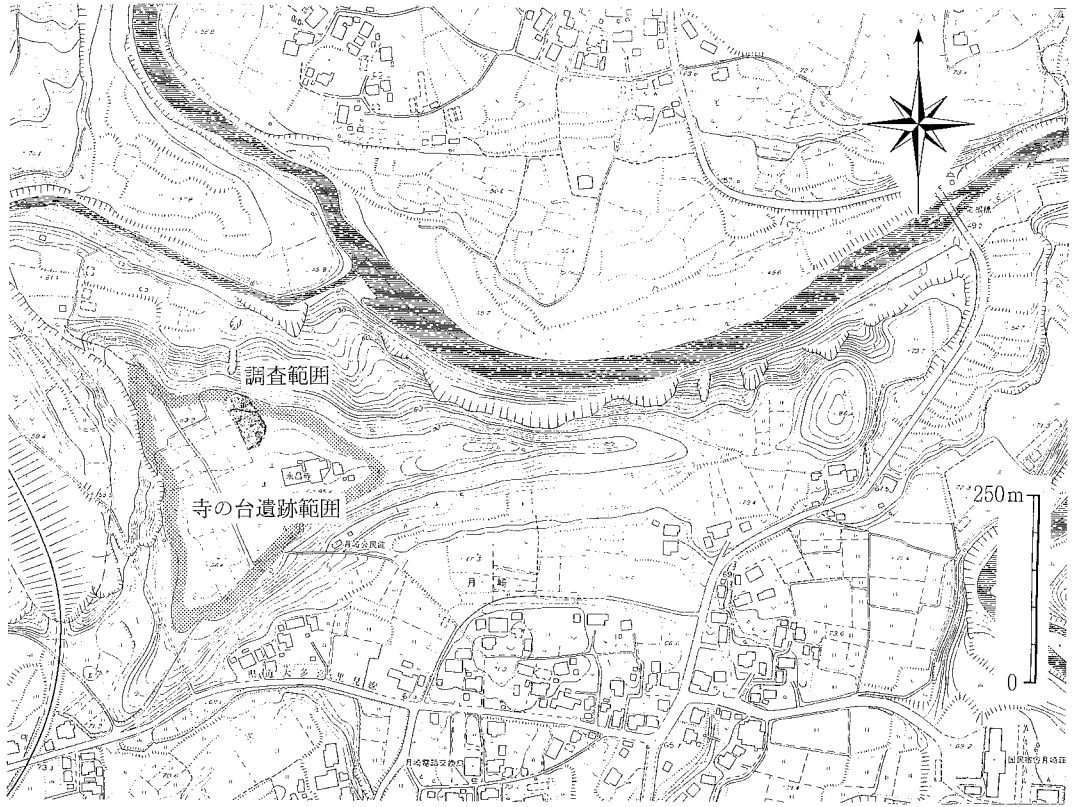
遺物包含層の下からは、3基の住居跡と4基の土壇が確認された。いずれの遺構もローム層を直に掘り込んだものではなく、その上に堆積した暗紫色の土の上に造られており、床面や壁などは不明瞭だったが、住居跡中央の炉には3基とも大型の土器を埋め込んであった。

5号遺構は、直径60cmほどの波状の口縁部を下にして埋め、内側の炉の焼けた面に胴部の破片を敷き詰めてあった。6号遺構では、直径40cmとやや小柄の土器の上3分の1を上向きに置き、胴部の破片を周囲に差し込んで補強してあった。7号遺構は、底部を抜いた土器を炉中に置き別の土器片を下に敷いている。5・6号遺構の土器は炉の使用中に埋めており、火を受けた痕跡は少なく、大型のため土器制作の際の焼きが悪く強く押さえると崩れるほどだった。一方7号遺構の土器は、内部で火を焚いており全体に赤く変色して脆くなっていた。このように三者三様の炉の造り方が同一遺跡で近接して見つかった例は珍しいことといえるだろう。

南東端の4号遺構（土壇）では直径高さともに約50cmの完形の土器が、土壇を掘った土で下半分を埋めて固定した状態で発見された。幼児の骨を納めたものか、木の実などを貯蔵したものか、内部の土は残してあるがまだ分析などが行われていないのでどちらとも断定はできない。

遺跡の主な時期は縄文時代中期（加曽利E1式）で、台地の形から調査を行った範囲は北側の縁辺部に対してのもので、南に遺物包含層も続いており、今回の調査範囲より一段高くなる台地の中央部に集落の中心があるものと思われる。

（半田堅三）



月崎寺の台遺跡周辺地形図・遺構配置図

### こおりもと 13. 郡本遺跡 (第 2 次)

事業名 電気通信設備設置に伴う埋蔵文化財調査

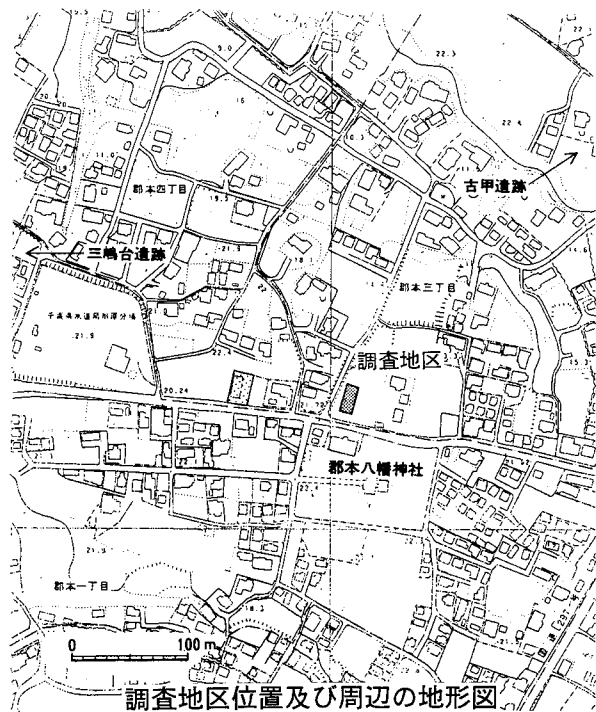
所在地 市原市郡本 3 丁目 202-1 地先

調査期間 平成 6 年 9 月 19 日～平成 6 年 11 月 4 日

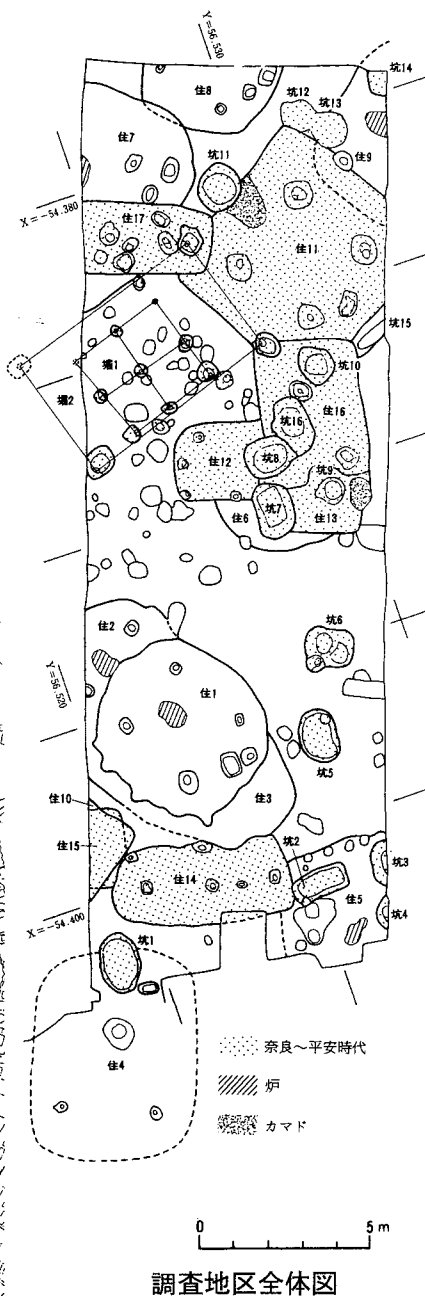
調査面積 267.47㎡

調査概要 郡本遺跡は、上総国府や市原郡家の推定地として注目されている遺跡である。今回の調査は、わずかな範囲ではあるが、第 2 次として実施した。

調査により、弥生時代後期～末葉の竪穴住居跡 9 軒、奈良時代の竪穴住居跡 2 軒、平安時代の竪穴住居跡 6 軒、奈良～平安時代と考えられる掘立柱建物跡 2 棟分、平安時代後葉の土墳墓（一部は火葬墓）16 基などを検出した。特に注目されるのは、8 世紀の住居跡 2 軒とカマドを伴わない長方形の 11 世紀第 1 四半期頃の 4 軒の住居跡である。国衙や郡家と何んらかの関連がある可能性をもっている。なお、報告書は同年度に当センターの第 56 集として刊行した。 (田中清美)



調査地区位置及び周辺の地形図



調査地区全体図

## 14. 東国吉大門遺跡

事業名 土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市東国吉字大門549番他

調査期間 平成6年10月17日～平成6年12月9日

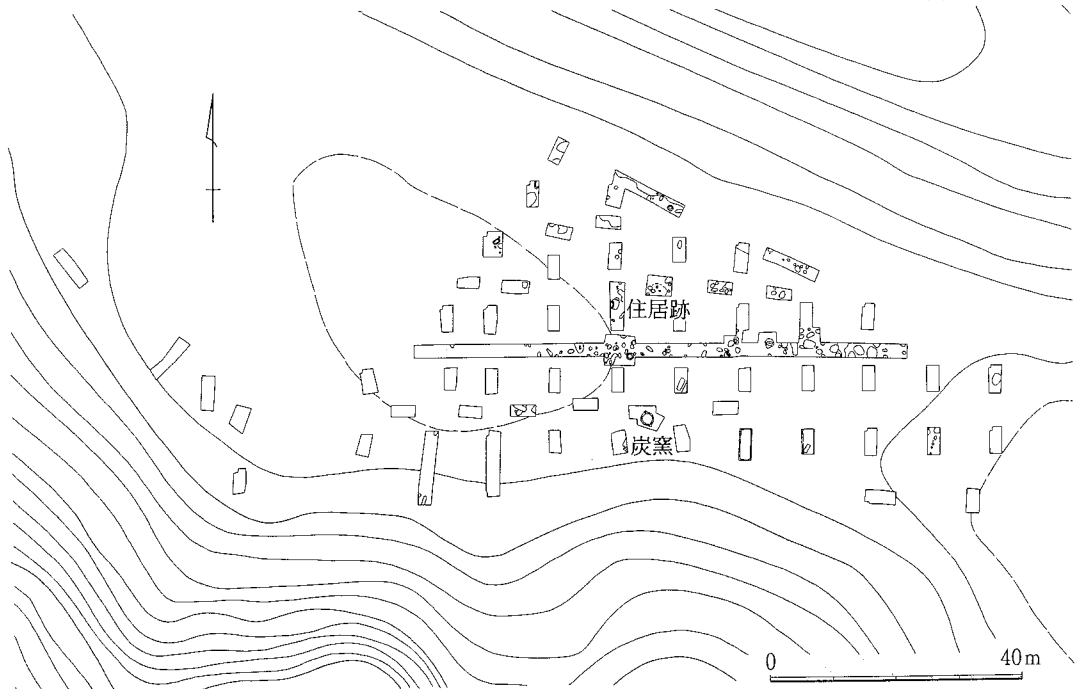
調査面積 6,000㎡のうち600㎡（確認調査）

調査概要 市原市市東地区の土地区画整理事業開始に先立って、市東第2小学校の北部の標高73mの舌状台地上で行われた確認調査は、2×4mの南北方向のトレンチを中心に地形に応じたトレンチを任意に設定して行った。最大で幅50mほどの東西に延びる馬の背状の台地上は、全体に遺構遺物の分布が希薄で、一辺1m内外の長方形の土壇3基、陥し穴1基、径1m以下のピット3基のほか、時期の不明瞭な長径4mを越える住居跡が発見された。土壇、陥し穴、ピットは出土遺物から縄文時代早期から中期にかけてのものと考えられ、住居跡は他の遺構との関連からは縄文時代の所産と考えられるが、一片だけ薄手で赤みを帯びた土器片が出土していることから弥生時代の可能性もある。

先土器時代の遺物の検出は、3ヵ所のトレンチからチップ・フレイクなど8点を検出した。

南側斜面にかかる部分で、直径2m強の円形の炭窯を検出した。遺構からは時期を決定できないが、戦後この付近で炭を焼いたという地元の話もあり、昭和20～30年代のものであろう。

（半田堅三）



東国吉大門遺跡全体図

## 15. <sup>たか</sup> <sup>くら</sup> <sup>ま</sup> <sup>ま</sup> <sup>だ</sup> <sup>うえ</sup> 高倉ママダ上遺跡

事業名 土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市高倉字ママダ上474-1番地先他

調査期間 平成6年12月7日～平成7年1月27日

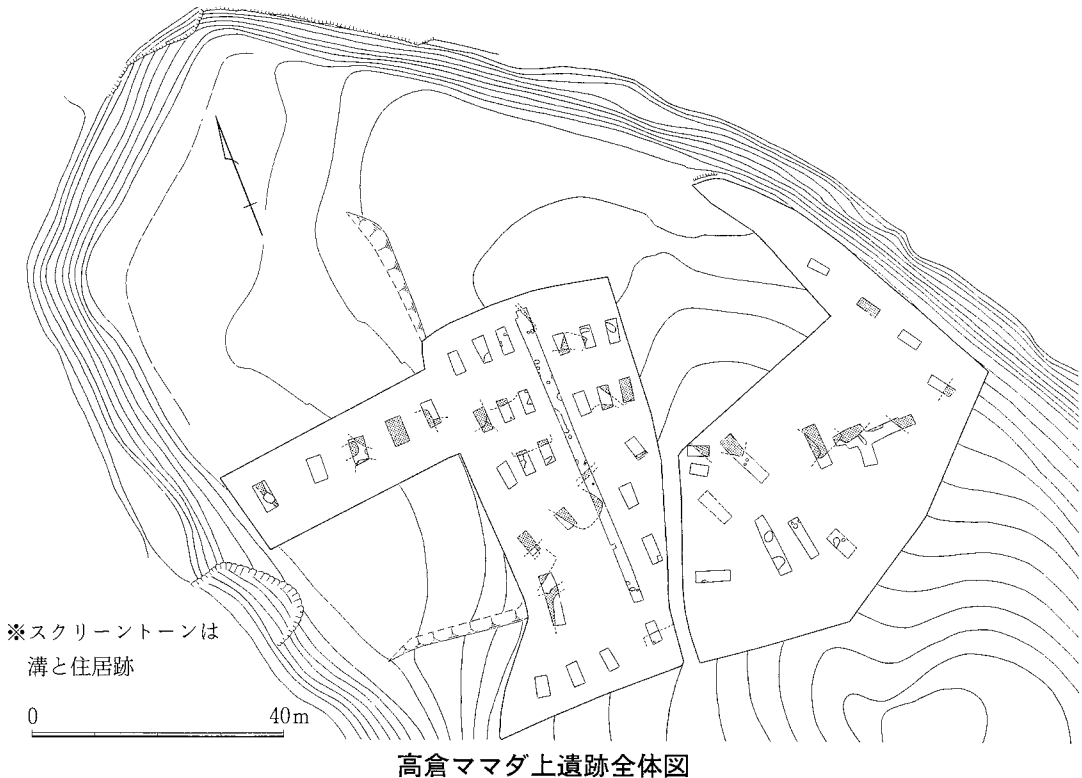
調査面積 4,000㎡のうち400㎡（確認調査）

調査概要 調査対象地は、東西を谷に挟まれた南北に延びる舌状台地の北端部にあたる。比高差10mほどの間に3段の段丘面があり、それぞれの面から、住居跡を中心とした遺構が検出された。住居跡は弥生時代後期から古墳時代後期にかけてのもので、南部中央のトレンチでは、カマドが北壁中央で検出され、その西脇で、甕形土器が検出されている。他の住居跡でも数は少ないものの、時期を捕らえられる土師器、須恵器などの遺物が遺構内で検出されている。

縄文時代の遺構は、上段、中段のテラスから長方形や長楕円形の土壌が8基検出されている。

上段、中段、下段のそれぞれから古墳時代の溝が1条ずつ検出されており、下段のものからは、中央部で長方形の土壌が重複して検出された。

中段の北西部で、ロームを削り取る台地整形が行われている。深さは2mほどであるが、その東と南を区画するように2条の直交する溝が確認され、整形の底面からは、方形の土壌が2基検出された。いずれも中世に所属するものと考えられる。 (半田堅三)



## 16. あね さき ろく そん のう ばら 姉崎六孫王原遺跡 F 区

**事業名** 宅地造成（姉崎六孫王原地区）に伴う埋蔵文化財調査

**所在地** 市原市姉崎字六孫王原3225番地の5他

**調査期間** 平成6年11月1日～平成6年12月30日

**調査面積** 1,336.25㎡（本調査）

**調査概要** 遺跡は通称姉崎台地のやや奥まった地点に位置し、AからE区までの調査が既に行われている。F区は、全体が椎津川により開析された谷に面し、六孫王原古墳とも隣接する。この古墳については、F区確認調査の際周溝をトレンチ調査し、既に結果も報告されているので、詳しくは報告書を参照されたい<sup>1)</sup>。

六孫王原遺跡では、隣接する毛尻遺跡をふくめ、過去、方形周溝墓を中心とした弥生時代中期から後期にかけての墓域と弥生時代後期から古墳時代前期の集落が検出されている。今回のF区では、近接地D区に連続する弥生時代中期宮ノ台期の方形周溝墓群が検出されたが、当該期の集落の所在はいまだ明らかではない。

調査の結果、弥生時代の方形周溝墓9基（1・2・10・11・12・13・14・15・19号）、周溝を伴わない弥生時代の土壇墓2基（6・17号）、縄文時代早期の炉穴1基（18号）、縄文時代陥し穴跡1基（16号）、縄文時代土坑1基（4号）、近世溝1条（3号）、近世・近代溝1条（5号）、近代土坑3基（7・8・9号）が検出された。方形周溝墓はこの時期に特徴的な列を組んだ配列が認められた。主体部を伴う遺構は3基（2・10・11号）であり、2号方形周溝墓主体部のみ木棺痕跡を確認することができた。また、11号遺構主体部に伴う固有の周溝は北東面の1条のみで、12・13・15号遺構の周溝を共用し構築されたものと思われる。周溝を伴わない6号土壇墓についても、同様な事例の可能性を指摘できる。

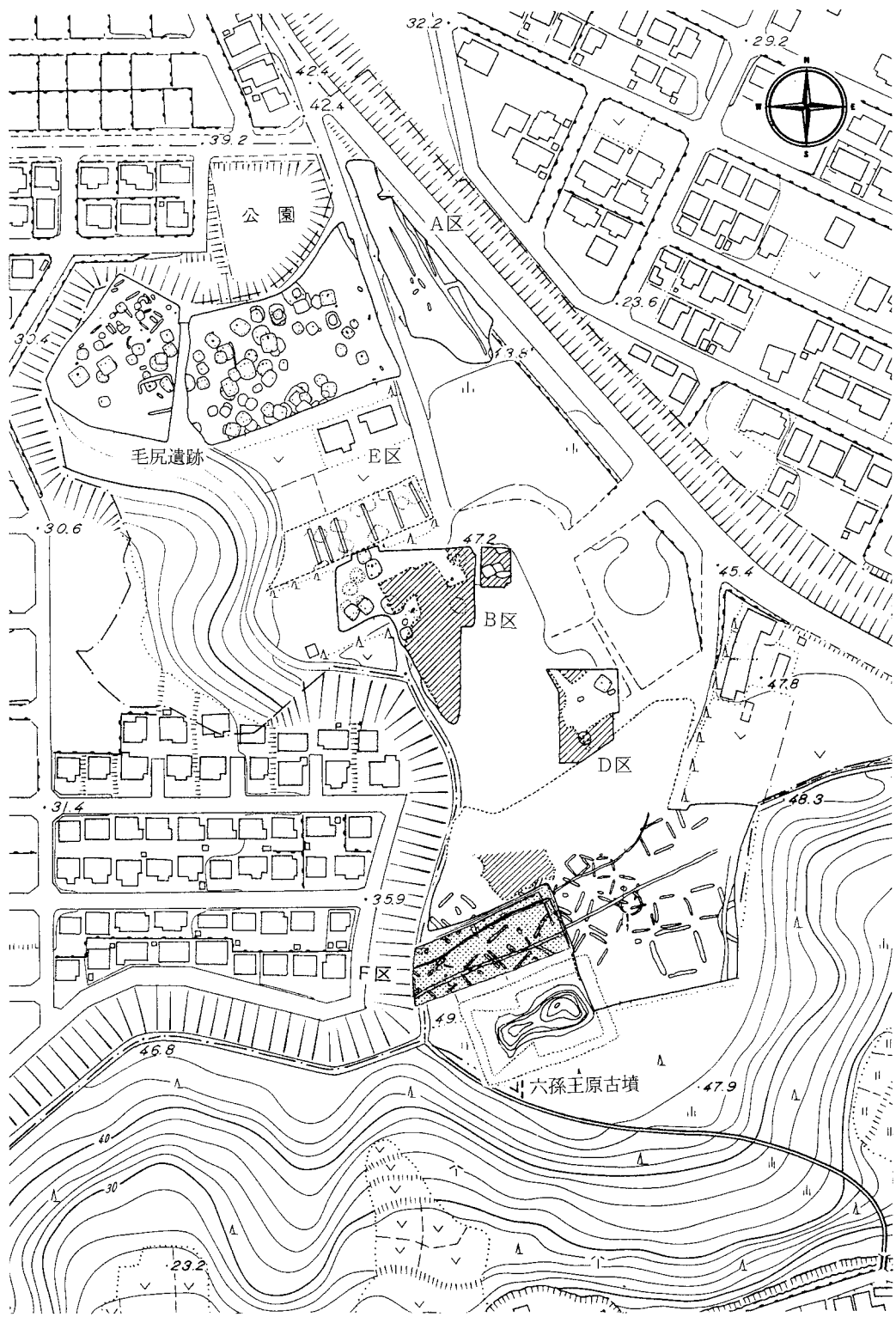
出土遺物は全体に少なく、すべて細片であり、方形周溝墓等にとまなう遺物は出土していない。方形周溝墓の周溝からは弥生中期宮ノ台式と思われる土器片が数点みられたのみであった。このほか全体に縄文早期条痕文系土器と後期の安行式期の土器片が散布していた。18号炉穴は条痕文系土器と同一期の可能性がある。なお、調査区を横断する2条の溝については、近世以降の遺物が出土している。

（櫻井敦史）

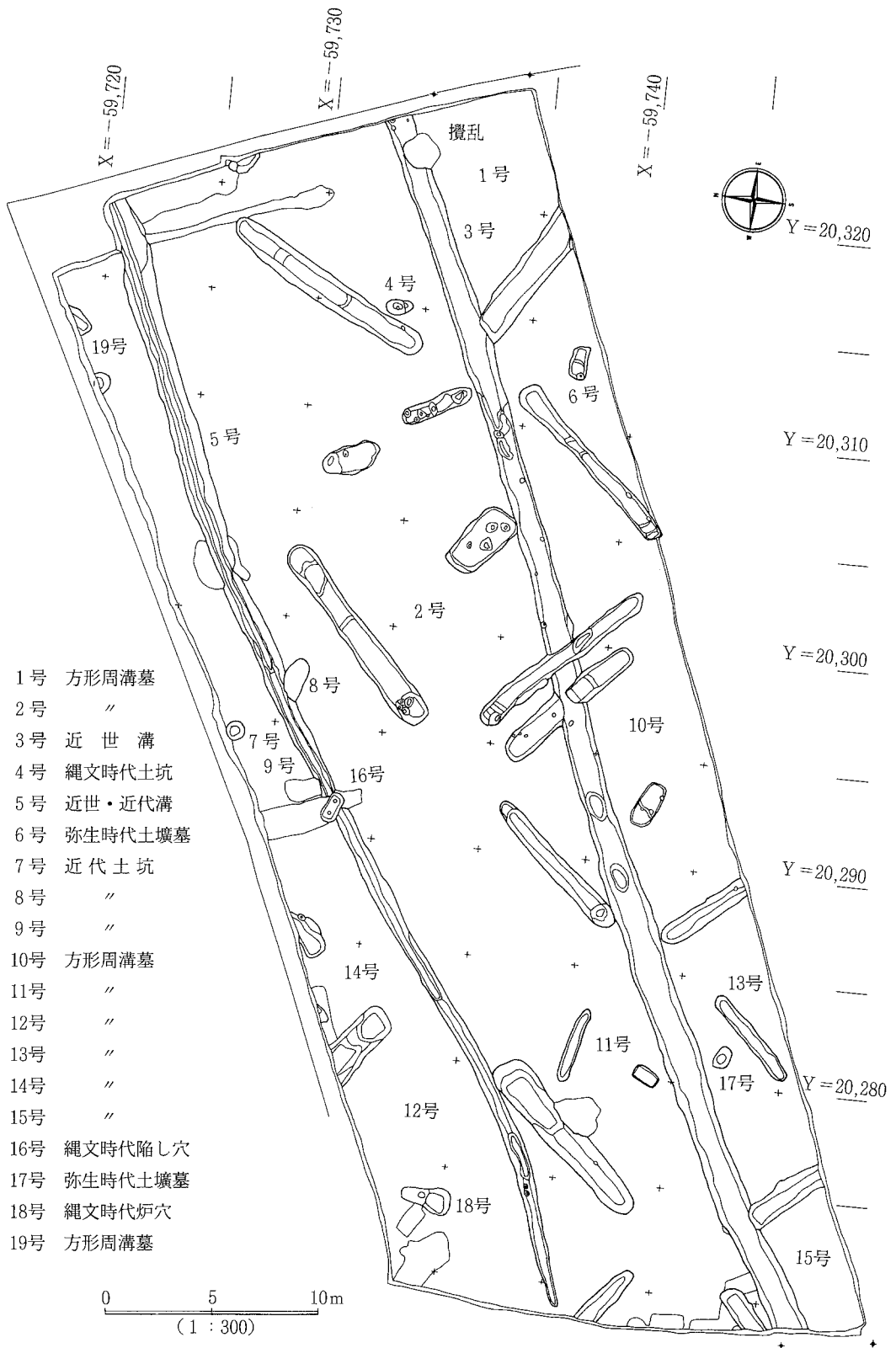
**注 釈**

(1) 田所 真『平成6年度市原市内遺跡発掘調査報告』市原市教育委員会、平成7年。

(2) 注釈(1)を基に作成。



姉崎六孫王原遺跡F区周辺地形図<sup>(2)</sup> (1 : 2,500)

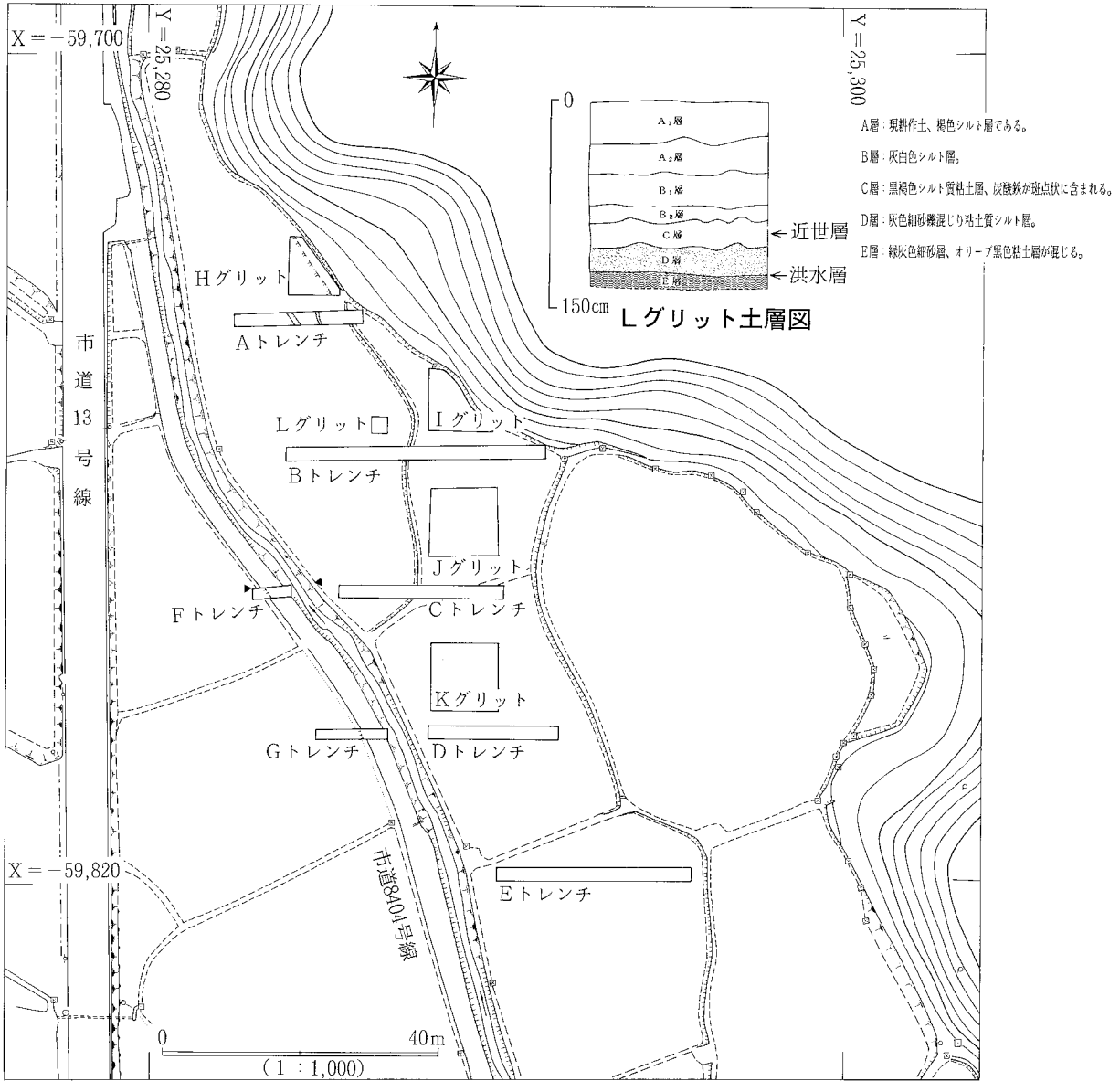


- 1号 方形周溝墓
- 2号 〃
- 3号 近世溝
- 4号 縄文時代土坑
- 5号 近世・近代溝
- 6号 弥生時代土壇墓
- 7号 近代土坑
- 8号 〃
- 9号 〃
- 10号 方形周溝墓
- 11号 〃
- 12号 〃
- 13号 〃
- 14号 〃
- 15号 〃
- 16号 縄文時代陥し穴
- 17号 弥生時代土壇墓
- 18号 縄文時代炉穴
- 19号 方形周溝墓

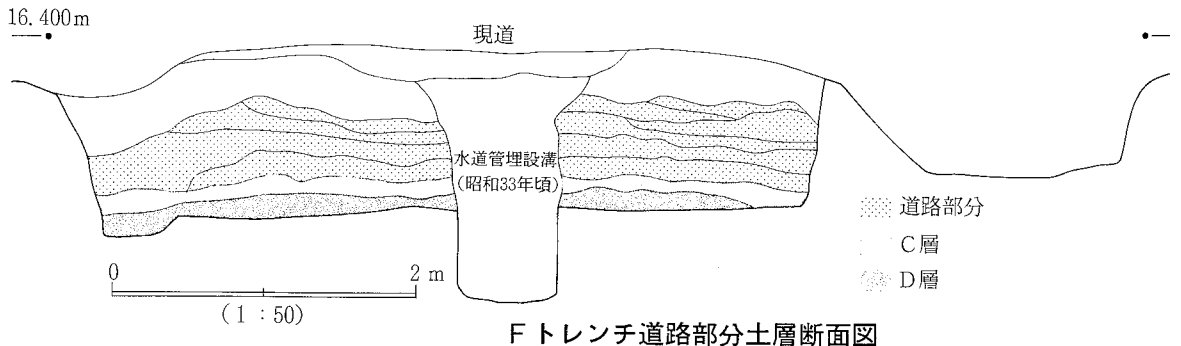
姉崎六孫王原遺跡F区遺構配置図







浅井小向後谷遺跡トレンチ・グリッド配置図



Fトレンチ道路部分土層断面図

## 18. 東国吉寺谷遺跡

**事業名** 市原市市東第一土地区画整理事業（第15地点）に伴う埋蔵文化財調査

**所在地** 市原市東国吉字寺谷639番1地先

**調査期間** 平成7年2月13日～平成7年3月27日

**調査面積** 8,830㎡のうち883（上層）83㎡（下層）（確認調査）

**調査概要** 遺跡は村田川支流の右岸標高65m前後の台地上の西端に位置する。「市原市埋蔵文化財分布地図」によると、当台地より標高差30m程の谷を挟んで、北側の台地上には縄文時代から平安時代の遺物包蔵地として周知されている東国吉宮ノ台遺跡、東国吉大門遺跡が、西側から北側を巡る標高60m程の台地上には、いずれも縄文時代を含む、弥生時代、平安時代遺物包蔵地とされる東国吉干場遺跡、猫沢遺跡、奈良大仏台遺跡が半径500m内外に所在する。この内、奈良大仏台遺跡については、平成元年に本調査が実施されており、縄文時代中期加曾利EⅡ式期、平安時代初期の住居跡等が検出され、当センター報告書第47集として報告されている。

今回の調査は、本地区の土地区画整理事業の一部として、それに先行して実施された。調査の結果、縄文時代中期と考えられる竪穴式住居跡3軒、陥し穴3基、土坑1基、平安時代掘立柱建物跡1棟、溝状遺構1条などが検出されている。（北見一弘）



東国吉寺谷遺跡調査範囲と周辺地形（1/5,000）

#### IV 平成6年度 受贈図書一覧

書名	寄贈者	受入日
平等院庭園発掘調査概要報告Ⅱ	宇治市教育委員会	6.4.6
平等院旧境内遺跡発掘調査概報	同上	〃
世界と日本の考古学	同上	〃
向日市埋蔵文化財調査報告書第37集	(財)向日市埋蔵文化財センター	〃
平成4年度(財)向日市埋蔵文化財センター年報 都城5	同上	〃
小松市林遺跡	(財)石川県埋蔵文化財保存協会	〃
日本出土の貿易陶磁 東日本編1・2	国立歴史民俗博物館	〃
山梨県埋蔵文化財センター調査報告第75・81集	山梨県埋蔵文化財センター	〃
ちばの博物館	浅利率一	〃
一般国道10号線宇佐道路埋蔵文化財発掘調査報告書(1)	大分県教育委員会	〃
中津バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書(3)	同上	〃
武蔵大学人文学会雑誌第25巻第4号	武蔵大学人文学会	〃
木ノ本Ⅲ遺跡第3次発掘調査報告書	和歌山市教育委員会	〃
車駕之古址古墳発掘調査概報	同上	〃
平成5年度鎌ヶ谷市内遺跡発掘調査概報	鎌ヶ谷市教育委員会	6.4.8
盛岡市埋蔵文化財調査年報 昭和60・61年度・昭和62年度	盛岡市教育委員会	〃
繫遺跡 昭和60年度発掘調査概報	同上	〃
盛岡城跡 昭和63年度・平成元年・2年度発掘調査概報	同上	〃
志波城跡 平成4年度発掘調査概報	同上	〃
大館遺跡群 大館町遺跡平成4年度発掘調査概報	同上	〃
第12回特別展 豊後の博学 後藤碩田	大分市歴史資料館	〃
大分市歴史資料館年報 1993年度	同上	〃
柏市埋蔵文化財調査報告書26	柏市教育委員会	6.4.11
正伝寺南遺跡	(財)滋賀県文化財保護協会	6.4.13
針江川北(Ⅱ)遺跡・吉武城遺跡	同上	〃
妙見山遺跡 妙見山古墳群	同上	〃
観音寺城下町遺跡 蒲生郡安土町石寺所在	同上	〃
欲賀西遺跡発掘調査報告書	同上	〃
佐原市内遺跡発掘調査概報Ⅷ	佐原市教育委員会	〃
神奈川県立博物館研究報告第20号	塩澤寛樹	6.4.15
下荻野中三嶽遺跡	国道412号線遺跡発掘調査団	〃
鎌倉市平成4年度鎌倉市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査報告書	鎌倉市教育委員会	6.4.19
鎌倉市平成4年度鎌倉市内復旧治山事業(公共)に伴う発掘調査報告書	同上	〃
国指定史跡若宮大路遺跡発掘調査報告書Ⅷ	同上	〃
四街道市内遺跡発掘調査報告書1994	四街道市教育委員会	〃
弥生の祈り人 よみがえる農耕祭祀	滋賀県立安土城考古博物館	〃
ふるさと小山市の指定文化財	小山市立博物館	〃
平成5年度成田市内遺跡発掘調査報告書	成田市教育委員会	〃
房総の祭りとは	千葉県教育庁	〃
千葉県の指定文化財第4集 平成5年度	同上	〃
総社市埋蔵文化財調査年報3 平成4年度	総社市教育委員会	〃
弥生から古墳へ 日本の古代はこうして始まった	大阪府立弥生文化博物館	〃
玉縄城跡発掘調査報告書	玉縄城跡発掘調査団	〃
祭祀考古創刊号	祭祀考古学会	6.4.26
特別展覧会 倭国 邪馬台国と大和王権	毎日新聞社	〃

書名	寄贈者	受入日
のじぎく文化財だより第25号	(財)のじぎく文化財保護研究財団	6.4.26
平成5年度山武町内遺跡群発掘調査報告書	山武町教育委員会	〃
徳島県埋蔵文化財センター研究紀要 真朱第2号	(財)徳島県埋蔵文化財センター	〃
四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告2	同上	〃
一宮市博物館年報(3)平成3・4年度	一宮市博物館	〃
郡遺跡群発掘調査報告書I	君津市教育委員会	〃
平成5年度千葉県君津市内遺跡発掘調査報告書	同上	〃
岩内遺跡・長滝遺跡群発掘調査報告	石川県立埋蔵文化財センター	〃
白江梯川遺跡II	同上	〃
埋蔵文化財(市内遺跡)報告書平成5年度	千葉県教育委員会	〃
貝塚博物館紀要第21号	千葉市立加曾貝塚博物館	〃
上津部田城址(第3次)発掘調査報告	津市教育委員会	〃
考古学における計量分析 計量考古学への道(Ⅲ)	帝塚山考古学研究所	〃
第7回考古学におけるパーソナルコンピュータ利用の現状	同上	〃
遺跡探査No.9	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター	〃
富津市内遺跡発掘調査報告書	富津市教育委員会	〃
木更津市内遺跡発掘調査報告書	木更津市教育委員会	〃
大畑台遺跡発掘事前総合調査報告書	同上	〃
東谷遺跡群確認調査報告書	同上	〃
請西遺跡群発掘調査報告書V	同上	〃
千葉県野田市平成5年度野田市内遺跡発掘調査報告	野田市教育委員会	〃
日本美術全集1 原始の造形	講談社	6.5.10
御代田町埋蔵文化財発掘調査報告書第17・18集	御代田町教育委員会	〃
四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第10・14冊	(財)香川県埋蔵文化財調査センター	6.5.11
正箱遺跡・薬王寺遺跡	同上	〃
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要II	同上	〃
市原市地方史研究第18号	市原市教育委員会	〃
アジア歴史ライブラリー	山武考古学研究所	6.5.16
東京国立博物館寄贈品図録日本考古後藤守一コレクション・杉原莊介コレクション	東京国立博物館	〃
京都府埋蔵文化財情報第51号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	〃
山武郡市文化財センター発掘調査報告書第14・15集	(財)山武郡市文化財センター	〃
研究紀要第1号	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター	〃
我孫子市埋蔵文化財小報第10集	我孫子市教育委員会	〃
国立歴史民俗博物館研究報告第56集	国立歴史民俗博物館	〃
陣ヶ前遺跡 第3次発掘調査報告書	松戸市遺跡調査会	〃
松戸市文化財調査報告第20集	同上	〃
平成5年度船橋市内遺跡発掘調査報告書	船橋市教育委員会	〃
古代第97号	早稲田大学考古学会	〃
近つ飛鳥写真集	大阪府立近つ飛鳥博物館	〃
企画展「輝きの復原」古墳・飛鳥の技術を求めて	同上	〃
一須賀古墳群資料目録I	同上	〃
平塚遺跡III	八王子市教育委員会	〃
小宮町遺跡第2次発掘調査報告書	同上	〃
八王子市No.443遺跡	同上	〃
千葉県八千代市内遺跡発掘調査報告	八千代市教育委員会	〃
名古屋大学文学部研究論集考古学抜刷第9集	名古屋大学文学部考古学研究室	6.5.17
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第132集	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	〃

書名	寄贈者	受入日
松山市文化財調査報告書第38集	財松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター	6.5.17
庄原市文化財調査報告書1・2	庄原市教育委員会	〃
宮ヶ瀬遺跡群IV	神奈川県立埋蔵文化財センター	〃
袖ヶ浦市史研究第2号	袖ヶ浦市教育委員会	〃
平成5年度袖ヶ浦市内遺跡発掘調査報告書	同上	〃
袖ヶ浦市史基礎資料調査報告書3	同上	〃
史館第25号	大村直	〃
大田区立郷土博物館紀要第4号	大田区立郷土博物館	〃
千葉県印旛郡八街町小間子牧野馬土手西栄柳沢牧野馬土手発掘調査報告書	八街市教育委員会	〃
千葉県八街市小間子牧野馬土手・野馬捕込跡発掘調査報告書	同上	〃
明治大学考古学博物館館報No.9	明治大学考古学博物館	〃
流山市埋蔵文化財調査報告vol.19・20	流山市教育委員会	〃
加美町遺跡地図	妙見山麓遺跡調査会	6.5.20
加古川流域の古代史	同上	〃
事業報告II 平成2年度・平成3年度	財香取郡市文化財センター	〃
狸崎B遺跡地蔵田A遺跡	秋田市教育委員会	〃
地蔵田A遺跡	同上	〃
世田谷区史料叢書第9号巻	世田谷区教育委員会	〃
筑波大学先史学・考古学研究第5号	筑波大学	〃
長原・瓜破遺跡発掘調査報告IV	財大阪市文化財協会	6.5.23
大阪城下町跡I	同上	〃
上町台地の遺跡	同上	〃
研究論集XII	財東京都教育文化財団東京都埋蔵文化財センター	〃
東京都埋蔵文化財センター年報13	同上	〃
東京都埋蔵文化財センター調査報告第15・16集	同上	〃
浦和市遺跡調査会報告書第163・181集	浦和市遺跡調査会	〃
浦和市内遺跡発掘調査報告書第22集	同上	〃
早稲田大学戸山キャンパス埋蔵文化財試掘調査概報	早稲田大学本庄校地文化財調査室本庄考古資料館	〃
平取町ピバウシ2遺跡	平取町教育委員会埋蔵文化財調査室	〃
中萩野弁天山遺跡発掘調査報告書	玉川文化財研究所	〃
七沢神出遺跡発掘調査報告書	同上	〃
太井己遺跡発掘調査報告書	同上	〃
大蔵東原遺跡発掘調査報告書	同上	〃
財群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第161・164・165・170集	財群馬県埋蔵文化財調査事業団	6.5.24
吾妻遺跡	六甲山麓遺跡調査会	〃
吉川町埋蔵文化財調査報告第3・4集	吉川町教育委員会	6.5.26
埋蔵文化財発掘調査報告書第44～48集	財愛知県埋蔵文化財調査センター	〃
北広里3遺跡	深川市教育委員会	〃
栃木県埋蔵文化財保護行政年報 平成4年度	栃木県教育委員会	〃
國學院大學考古学研究紀要第10輯	國學院大學考古学資料館	〃
千葉県立安房博物館研究紀要vol.1	千葉県立安房博物館	6.6.2
のじぎく文化財だより第26号	財のじぎく文化財保護研究財団	〃
京都府遺跡調査報告書第20冊	財京都府埋蔵文化財調査研究センター	〃
財香取郡市文化財センター調査報告書第11・13・15～17・19～22集	財香取郡市文化財センター	〃
財瀬戸市埋蔵文化財センター調査報告第8集	財瀬戸市埋蔵文化財センター	〃
鳥取県教育文化財団調査報告書34～36	財鳥取県教育文化財団鳥取県埋蔵文化財センター	〃
富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告第5集	財富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所	〃

書名	寄贈者	受入日
宇治市埋蔵文化財発掘調査概報第23集	宇治市教育委員会	6.6.2
角田市文化財調査報告書第12～14集	角田市教育委員会	"
平成5年度港区指定文化財	港区立郷土資料館	"
港区文化財調査集録第2集	同上	"
埋蔵文化財発掘調査概報VI	三重県埋蔵文化財センター	"
島戸境1号墳発掘調査報告書	山武町教育委員会	"
松本市文化財調査報告No.112～114	松本市教育委員会	"
仙台市文化財調査報告書第178・179・183・184・187集	仙台市教育委員会	"
大阪市立博物館報No.33	大阪市立博物館	"
栃木県立なす風土記の丘資料館年報第1号	栃木県立なす風土記の丘資料館	"
那須の歴史と文化 栃木県立なす風土記の丘資料館常設展示解説	同上	"
博古研究第7号	博古研究会	"
京都府遺跡調査概報第56冊	（財）京都府埋蔵文化財調査研究センター	6.6.8
千葉県史研究第2号	（財）千葉県史料研究財団	"
平安京跡発掘調査概報 平成5年度	京都市埋蔵文化財センター・（財）京都市埋蔵文化財研究所	"
鳥羽離宮跡発掘調査概報 平成5年度	同上	"
京都市内遺跡立会調査概報 平成5年度	同上	"
京都市内遺跡試掘調査概報 平成5年度	同上	"
福山藩と教育と文化 江戸時代後期を中心に	広島県立歴史博物館	"
広島県立歴史博物館展示図録第9冊	同上	"
福知山市文化財調査報告書第24～27集	福知山市教育委員会	"
（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第160集	（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団	6.6.13
高槻市文化財年報 平成4年度	高槻市立埋蔵文化財調査センター	"
高槻市文化財調査概要20	同上	"
国立歴史民俗博物館研究報告第57集	国立歴史民俗博物館	"
神奈川県埋蔵文化財調査報告36	神奈川県教育委員会	"
なつかしい蒸気機関車	船橋市郷土資料館	"
八木ヶ谷の文化財	同上	"
ふなばしのむかしをさがそう	同上	"
江戸時代の船橋周辺 藤原新田御用留による村の暮らし	同上	"
調布市埋蔵文化財調査報告28・29	調布市教育委員会	"
東京都調布市埋蔵文化財年報 平成4年度	同上	"
東邦考古第18号	東邦考古学研究会	"
ちばの博物館	鈴木仲秋	"
向日市埋蔵文化財調査報告書第38集	（財）向日市埋蔵文化財センター	6.6.14
新潟県埋蔵文化財調査報告書第58～63集	（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団	"
新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 平成5年度	同上	"
由比ヶ浜4-6-9地点発掘調査報告書	鎌倉考古学研究所	"
国指定史跡若宮大路遺跡発掘調査報告書IX	同上	"
鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書10	同上	"
鎌倉市二階堂国指定史跡永福寺跡	同上	"
図録「前田青邨」	成田山霊光館	"
千葉県立大利根博物館 平成5年度年報	千葉県立大利根博物館	"
特別展「鯰なまず百話」展示図録	同上	"
写真集利根川高瀬船	同上	"
大宮市遺跡調査会報告第47集	大宮市遺跡調査会	"
大宮市文化財調査報告第35・43～46集	同上	"

書名	寄贈者	受入日
東京大学文学部考古学研究室研究紀要第12号	東京大学文学部考古学研究室	6.6.14
名古屋市博物館研究紀要第17卷	名古屋市博物館	〃
高橋家「御用留」第二集	茂原市教育委員会	〃
任地翁記聞	茂原市立図書館	〃
落川・一の宮遺跡調査略報Ⅱ	落川・一の宮遺跡(日野3・2・7号線)調査会	〃
城山遺跡の調査	早稲田大学校地埋蔵文化財調査室	〃
小田原市文化財調査報告書第44～54集	小田原市教育委員会	6.6.15
国指定史跡小田原城跡住吉橋復原工事報告書	同上	〃
国指定史跡上高津貝塚A地点	土浦市教育委員会	〃
塚場遺跡発掘調査報告書	八王子市教育委員会	〃
八王子市日向四谷遺跡調査報告書	同上	〃
奈良国立文化財研究所史料第36冊	奈良国立文化財研究所	6.6.17
袖ヶ浦市史基礎資料調査報告書2	袖ヶ浦市教育委員会	〃
年報 平成5年度	勸山形県埋蔵文化財センター	6.6.21
昭和63年度京都市埋蔵文化財調査概要	勸京都市埋蔵文化財研究所	〃
京都市埋蔵文化財研究所調査報告書第12冊	同上	〃
空港跡地遺跡発掘調査概報 平成5年度	勸香川県埋蔵文化財センター	〃
国道バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 平成5年度	同上	〃
小山・南谷遺跡	同上	〃
多肥松林遺跡発掘調査概報 平成5年度	同上	〃
大阪府下埋蔵文化財研究会(第3回)資料	勸大阪文化財センター	〃
勸長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書19	勸長野県埋蔵文化財センター	〃
泉南市文化財調査報告書第25集	泉南市教育委員会	〃
奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成5年度	奈良市教育委員会	〃
奈良市埋蔵文化財調査センター紀要 1993	同上	〃
平城京東市跡推定地の調査Ⅱ	同上	〃
研究紀要11	勸群馬県埋蔵文化財調査事業団	6.6.23
長岡京市埋蔵文化財センター年報 平成4年度	勸長岡京市埋蔵文化財センター	〃
広島県中世城館遺跡総合調査報告書第2集	広島県教育委員会	〃
史跡毛利氏城跡郡山城跡	同上	〃
紀要第2号	滋賀県立安土城考古博物館	〃
滋賀県立安土城考古博物館 平成5年度年報	同上	〃
千葉県立中央博物館研究報告第3巻第2号	千葉県立中央博物館	〃
上野第1遺跡(平原地区・米田地区)上野第2遺跡 手崎遺跡	大分県教育委員会	〃
府内城三ノ丸遺跡	同上	〃
府内城三ノ丸遺跡Ⅱ	同上	〃
大分県埋蔵文化財年報2 平成4(1992)年度版	同上	〃
葛飾区遺跡調査会報告報告第11・17・20・29集	葛飾区遺跡調査会	6.6.24
金沢大学考古学紀要第21号	金沢大学文学部考古学研究室	〃
埼玉県立埋蔵文化財センター年報3	埼玉県立埋蔵文化財センター	〃
研究紀要第16号	埼玉県立歴史資料館	〃
資料館ガイドブック10 埼玉の武者絵馬	同上	〃
所沢市文化財調査報告書第39集	所沢市教育委員会	〃
草戸千軒町遺跡発掘調査報告Ⅱ	草戸千軒町遺跡調査研究所	〃
古代の水田を考える	帝塚山考古学研究所	6.6.26
野尻町文化財調査報告書第6集	野尻町教育委員会	6.6.27
埋蔵文化財発掘調査報告書第50・51集	勸愛媛県埋蔵文化財調査センター	〃



書名	寄贈者	受入日
多々羅製塩遺跡	(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター	6.6.27
(財)君津郡市文化財センター発掘調査報告書第71・79・86・88・89・94・96～98集	同上	〃
君津郡文化財センター研究紀要VI	同上	〃
君津郡市文化財センター年報No.11	同上	〃
いわき市埋蔵文化財調査報告第34冊	いわき市教育委員会	〃
いわき市埋蔵文化財調査報告第16・35～37冊	同上	〃
国塚遺跡発掘調査概報	同上	〃
いわき市教育文化事業団年報4 平成4年度	(財)いわき市教育文化事業団	〃
いわき市教育文化事業団研究紀要第5号	同上	〃
長岡京市文化財調査報告書第32冊	長岡京市教育委員会	〃
兵庫県生産遺跡調査報告第4冊	妙見山麓遺跡調査会	〃
国府台4	和洋女子大学文化資料館	〃
東海大学校地内遺跡調査団報告4	東海大学校地内遺跡調査団	6.7.6
(財)長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書16～18	(財)長野県埋蔵文化財センター	〃
のじぎく文化財だより第27号	(財)のじぎく文化財保護研究財団	〃
広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第97・106・107・114集	(財)広島県埋蔵文化財調査センター	〃
(財)勝田市文化・スポーツ振興公社文化財調査報告第9・10集	(財)勝田市文化・スポーツ振興公社	〃
梶子遺跡IX	(財)浜松市文化協会	〃
栃木県南河内町下野薬師寺跡	国土館大学文学部考古学研究室	〃
国分寺市文化財調査報告第40集	国分寺市教育委員会	〃
武蔵国分寺跡発掘調査概報XX	同上	〃
佐倉市城番塚遺跡	佐倉市教育委員会	〃
四街道市の文化財第20号	四街道市教育委員会	〃
平成5年度市川市内遺跡発掘調査報告	市川市教育委員会	〃
第5回企画展 鉄砲のカラクリ 近世の技術革新	滋賀県立安土城考古博物館	〃
垂水・日向遺跡	神戸市教育委員会	〃
大開遺跡発掘調査報告書	同上	〃
企画展示 古代人と動物	同上	〃
神庭洞窟	埼玉県立博物館	6.7.8
埼玉県立博物館紀要5・7・8・9・13～19	同上	〃
平安京跡発掘調査概報 平成5年度	(財)京都市埋蔵文化財研究所	6.7.13
鳥羽離宮跡発掘調査概報 平成5年度	同上	〃
京都市内遺跡試掘調査概報 平成5年度	同上	〃
京都市内遺跡立会調査概報 平成5年度	同上	〃
平成5年度瀬戸市埋蔵文化財センター年報	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター	〃
(財)瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要第2輯	同上	〃
下総国分寺跡	市立市川考古学博物館	〃
工場まちの探検ガイド	大田区立郷土博物館	〃
石田遺跡	島根県埋蔵文化財調査センター	〃
一般国道9号(安来道路)建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書V～VII	同上	〃
上久々茂土居跡・大峠遺跡	同上	〃
上久々茂土居跡遺跡出土鉄滓・鉄釘の金属学的調査	同上	〃
島根県教育庁文化課埋蔵文化財調査センター年報II 平成5年度	同上	〃
八王子市埋蔵文化財年報 平成5年度	八王子市教育委員会	〃
岡山理科大学蒜山研究報告第19号	蒜山研究所岡山理科大学図書館	〃
京都府遺跡調査概報第57冊	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	6.7.16
水草木遺跡	五日市町立五日市町郷土館	〃

書名	寄贈者	受入日
「中世」から「近世」へ 中世考古学及び隣接諸学から資料集	帝京大学山梨文化財研究所	6.7.16
平成3年度尼崎市埋蔵文化財年報	尼崎市教育委員会	〃
尼崎市埋蔵文化財遺跡分布地図及び手引き	同上	〃
三吉野欠上	日の出町三吉野欠上遺跡調査団	〃
特別展図録「まつる ふさぐ もやす」	長野市立博物館	6.7.22
玉村町埋蔵文化財発掘調査報告書第11～13集	山武考古学研究所	〃
矢島町薬師遺跡	同上	〃
上中居西屋遺跡	同上	〃
岩押町Ⅰ遺跡	同上	〃
学術調査研究第3集	同上	〃
六万遺跡	同上	〃
大賀立野遺跡	同上	〃
八木蒔小池平遺跡	同上	〃
上人塚遺跡	同上	〃
茨城県教育財団文化財調査報告第84～90集	(財)茨城県教育財団	〃
年報13 平成5年度	同上	〃
研究ノート3号 平成5年度	同上	〃
(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第132～144集	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団	〃
研究紀要第10号	同上	〃
足守庄(足守幼稚園)関連遺跡発掘調査報告	岡山市教育委員会	〃
西祖山方前遺跡西祖橋本(御休幼稚園)遺跡発掘調査報告	同上	〃
沼津市博物館紀要18	沼津市歴史民俗資料館	〃
特別展 掘り出された原始・古代	同上	〃
浜松市博物館館報VI	浜松市博物館	〃
浜松の漁の道具	同上	〃
東国地域文化史序説	鈴木仲秋	6.7.25
調査年報6 平成5年度	(財)北海道埋蔵文化財センター	6.7.26
遺跡が語る北海道の歴史	同上	〃
キウス4遺跡	同上	〃
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第85～90集	同上	〃
粟田遺跡発掘調査報告書	(財)石川県埋蔵文化財保存協会	〃
土浦市立博物館紀要第5号	土浦市立博物館	〃
瓜生堂遺跡発掘調査報告	(財)大阪文化財センター	6.7.27
巨摩・若江北(その3)	同上	〃
小阪遺跡	同上	〃
河合遺跡	同上	〃
シンポジウム原始・古代のコメ作り 発表要旨	同上	〃
新家(その5)	同上	〃
大阪城跡発掘調査概要1・4～6	同上	〃
図録 農耕の技術とまつり 池島・福万寺遺跡の調査から	同上	〃
一般府道本堂高井田線改良工事に伴う青谷地区埋蔵文化財分布調査報告書	同上	〃
都市計画道路大阪モノレール建設に伴う和道遺跡発掘調査概要報告書	同上	〃
大阪文化財研究第3～6号	同上	〃
大阪文化財研究 20周年増刊号	同上	〃
研究紀要vol.11	同上	〃
池島・福万寺遺跡発掘調査概要Ⅱ～Ⅷ	同上	〃
畝傍陵墓参考地石室内現況調査報告	近藤 敏	6.7.28

書名	寄贈者	受入日
番塚古墳 VI章 自然科学的調査	近藤 敏	6.7.28
宮ノ本遺跡第7次調査出土四仙騎獣八稜鏡とその同型鏡について	同 上	〃
朝霞市文化財調査報告書第17集	同 上	〃
下溝鳩川遺跡発掘調査報告書	玉川文化財研究所	〃
善行遺跡発掘調査報告書	同 上	〃
のじぎく文化財だより第28号	(財)のじぎく文化財保護研究財団	〃
京都府埋蔵文化財情報第52号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	〃
九州の貝塚 貝塚が語る縄文人の生活	北九州市立考古博物館	6.8.3
多気町の旧石器・縄文遺跡	奥 義次	6.8.4
度会町文化財調査報告4・5	同 上	〃
県営かんがい排水事業関連遺跡発掘調査報告書VI-3・IX-1	(財)滋賀県文化財保護協会	6.8.8
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XVII-2・XVII-6・XX-1	同 上	〃
錦織・南滋賀遺跡発掘調査概要IV	同 上	〃
紀要第17号	同 上	〃
レトロ・レトロの展覧会	同 上	〃
京都府遺跡調査概報第58冊	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	6.8.9
平成6年度特別展図録 維新前夜の房総	千葉県立安房博物館	〃
遺跡探査No.10	奈良国立文化財研究所	〃
埼玉の瓦塔	埼玉県立歴史資料館	6.8.10
史跡箕谷古墳群	八鹿町教育委員会	〃
八鹿の文化財	八鹿町教育委員会	〃
相模国分尼寺関連遺跡詳細分布調査報告書IV	海老名市教育委員会	6.8.15
長野市立博物館収蔵資料目録 歴史2	長野市立博物館	〃
飛鳥・藤原宮発掘調査概報24	奈良国立文化財研究所	〃
港郷土資料館館報12 平成5年度版	港区立港郷土資料館	6.8.16
港区内近世都市江戸関連遺跡調査報告15・16	同 上	〃
「織田信長と安土城」 開館記念シンポジウム記録	滋賀県立安土城考古博物館	〃
第6回企画展 古代文化の交差点	同 上	〃
鈴鹿市埋蔵文化財調査報告14	鈴鹿市教育委員会	〃
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第157・167・169集	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	6.8.21
千葉城郭研究第3号	千葉城郭研究会	〃
神谷原I	大村 直	6.8.22
神谷原III	同 上	〃
美東町文化財調査報告第3・5集	美東町教育委員会	〃
西之辻遺跡第23次発掘調査概要	(財)東大阪市文化財協会	6.8.24
西ノ辻遺跡第35次発掘調査報告	同 上	〃
西ノ辻遺跡第36次発掘調査報告	同 上	〃
神並遺跡II	同 上	〃
若江遺跡第44次発掘調査報告	同 上	〃
東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告 1992年度	同 上	〃
冠遺跡群III	広島県教育委員会	〃
「広島県の埋蔵文化財」	同 上	〃
千葉県立総南博物館年報1	千葉県立総南博物館	6.8.26
調査研究報告第7号	埼玉県立さきたま資料館	6.8.29
袋井市大畑遺跡	袋井市教育委員会	〃
袋井市長者平遺跡	同 上	〃
袋井市大畑遺跡	同 上	〃

書名	寄贈者	受入日
鶴松遺跡Ⅳ	袋井市教育委員会	6.8.29
宇佐八幡境内遺跡	同上	"
袋井市春岡遺跡	同上	"
袋井市長者平遺跡	同上	"
土橋遺跡	同上	"
坂尻遺跡	同上	"
一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要1993	福井県立一乗朝倉氏遺跡資料館	"
特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡	同上	"
東洋陶磁名品展	愛知県陶磁資料館	6.9.1
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第153・154集	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	6.9.6
構之内遺跡発掘調査報告書	玉川文化財研究所	"
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第188・196～201・209集	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	"
紀要ⅩⅦ	同上	"
千葉県文化財センター研究紀要14	(財)千葉県文化財センター	"
千葉県文化財センター蔵書目録Ⅱ	同上	"
枚方市文化財年報13 1991年度分	(財)枚方市文化財保護調査会	"
宇治市埋蔵文化財発掘調査概報第24集	宇治市教育委員会	"
奈良国立文化財研究所年報1993	奈良国立文化財研究所	"
向原遺跡発掘調査報告書	板橋区向原遺跡調査会	"
新島本村文化財調査報告第2集	田所 真	6.9.7
國學院大學文学部考古学実習報告第5集	同上	"
古代の土器2 都城の土器集成Ⅱ	同上	"
大津市埋蔵文化財調査報告書25	大津市教育委員会	"
のじぎく文化財だより第29号	(財)のじぎく文化財保護研究財団	6.9.12
松山市文化財調査報告書第39～43・45集	(財)松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター	"
武蔵大学人文学会雑誌第26巻1号	武蔵大学人文学会	"
第4回鎌倉市遺跡調査・研究発表会要旨	鎌倉考古学研究所	6.9.19
長谷小路周辺遺跡由比ヶ浜3丁目228・229番外No.236	同上	"
史叢第52号	日本大学史学会	"
第12回小さな展覧会 京都発掘'94	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	6.9.21
京都府遺跡調査概報第59冊	同上	"
宮ヶ谷戸遺跡Ⅱ	秋川市教育委員会	"
兵庫鉦業史の研究Ⅰ	妙見山麓遺跡調査会	"
石成遺跡	(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所	6.9.26
清水遺跡	同上	"
角江遺跡	同上	"
静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告書第29・39・46・47・49・51・54集	同上	"
静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要Ⅳ	同上	"
静岡県埋蔵文化財調査研究所年報Ⅹ(平成5年度事業概要)	同上	"
青森県埋蔵文化財調査報告書第152・158・159・162～164・166集	青森県埋蔵文化財調査センター	"
古代文化研究第2号	島根県古代文化センター	"
東京都埋蔵文化財センター調査報告第17集	(財)東京都教育文化財団東京都埋蔵文化財センター	6.9.29
埼玉県埋蔵文化財調査事業団年報14	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団	"
東京都八王子市弁天橋西遺跡	八王子市教育委員会	"
平成6年秋季特別展解説書『三輪と出雲』	(財)桜井市文化財保存協会	6.10.3
宮竹野際遺跡2	(財)浜松市文化協会	"
仙台市文化財調査報告書第186・188集	仙台市教育委員会	"

書名	寄贈者	受入日
里浜貝塚Ⅹ	東北歴史資料館	6.10.3
のじぎく文化財だより第30号	(財)のじぎく文化財保護研究財団	6.10.6
金剛峯寺遺跡発掘調査概報	(財)和歌山県文化財センター	〃
根来寺坊院跡 1994. 3	同 上	〃
山東22号古墳(Ⅱ)	同 上	〃
金剛峯寺遺跡調査概報	同 上	〃
明恵上人遺跡発掘調査概報	同 上	〃
旧吉備中学校校庭遺跡	同 上	〃
蛭田坪遺跡	同 上	〃
名古屋Ⅰ遺跡	同 上	〃
(財)和歌山県文化財センター年報1992・1993	同 上	〃
秋月遺跡	同 上	〃
根来寺坊院跡	同 上	〃
蛭田坪遺跡	同 上	〃
西国分Ⅱ遺跡	同 上	〃
社団法人石川県埋蔵文化財保存協会年報4 平成4年度	(財)石川県埋蔵文化財保存協会	〃
小山市立博物館報第11号 平成5年度	小山市立博物館	〃
第29回企画展 中世の墓葬 遠江國一の谷と下野國祇園城跡を中心に	同 上	〃
第29回企画展図録中世の墓葬	同 上	〃
飛鳥ノート	奈良国立文化財研究所飛鳥資料館	〃
青山学院構内遺跡	青山学院構内遺跡調査室	6.10.12
京都府埋蔵文化財情報第53号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	〃
よみがえる太古 うつのみや遺跡の広場	宇都宮市教育委員会	〃
九州歴史資料館年報 平成5年度	九州歴史資料館	〃
九州歴史資料館研究論集19	同 上	〃
シルクロードのまもり その埋もれた記録	大阪府立近つ飛鳥博物館	〃
一須賀古墳群Ⅰ支群発掘調査概要	同 上	〃
大分市歴史資料館年報1993年度	大分市歴史資料館	〃
府内及び大友氏関係遺跡総合調査研究年報Ⅱ	同 上	〃
第35回特別展信濃の山岳信仰	長野市立博物館	〃
古代の土器研究 律令の土器様式の西・東2 須恵器	田所 真	〃
日野市落川遺跡調査略報 58・60年度	木對和紀	6.10.13
日野市落川遺跡調査概報Ⅳ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ	同 上	〃
特別展図録 民衆と信仰	千葉県立総南博物館	6.10.14
平成元年度京都市埋蔵文化財調査概要	(財)京都市埋蔵文化財研究所	〃
横須賀市博物館報第41号	横須賀市自然博物館・横須賀市人文博物館	〃
横須賀市博物館研究報告(人文科学)第38号	同 上	〃
横須賀市博物館資料集第19号	同 上	〃
考古資料図録Ⅹ	同 上	〃
柳田國男と世田谷	世田谷区教育委員会	6.10.17
寺尾城址発掘調査報告	(財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター	〃
茅ヶ崎城址Ⅱ	同 上	〃
財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター年報4	同 上	〃
港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告ⅩⅡ・ⅩⅤ	同 上	〃
財団法人山武郡市文化財センター年報No.9	(財)山武郡市文化財センター	〃
(財)山武郡市文化財センター発掘調査報告書第21・22集	同 上	〃
財団法人千葉市文化財調査協会年報6 平成4年度	(財)千葉市文化財調査協会	〃

書名	寄贈者	受入日
特別展 三重県の祭祀遺跡	斎宮歴史博物館	6.10.17
三重県埋蔵文化財調査報告100-4・115-1	三重県埋蔵文化財センター	"
昭和63年度・平成3年度神戸市埋蔵文化財年報	神戸市教育委員会	"
出合遺跡第27次発掘調査報告書	同上	"
高塚山古墳群	同上	"
平成4年度遺跡現地説明会資料	同上	"
大津市埋蔵文化財調査報告書26	大津市教育委員会	"
古代東国の産業 那須地方の窯業と製鉄業	栃木県立なす風土記の丘資料館	"
栗野台遺跡発掘調査報告書	(財)香取郡市文化財センター	6.10.18
(財)香取郡市文化財センター調査報告書第12・18・23・27・29集	同上	"
史跡山中城跡Ⅱ	三島市教育委員会	6.10.20
川越市立博物館要覧	川越市立博物館要覧	"
大宮市立博物館研究紀要第6号	大宮市立博物館	"
第18回特別展図録 和家具 箆笥と小箱	同上	"
平成6年度東京都埋蔵文化財センター要覧	東京都教育文化財団東京都埋蔵文化財センター	6.10.21
各務原市文化財調査報告書第14号	各務原市埋蔵文化財調査センター	"
古代第98号	早稲田大学考古学会	"
てぬぐい展	大田区立郷土博物館	"
遺跡探査No.11	奈良国立文化財研究所	"
小山市立博物館紀要第4号	小山市立博物館	6.10.24
企画展「神々の風景 古代のカミへの捧げモノ」図録	館山市立博物館	"
写真集ちょっと昔のせたがや	世田谷区立郷土資料館	"
石舞台古墳案内書(復刻)	田所 真	6.10.31
朝日遺跡Ⅰ	愛知県清洲貝殻山貝塚資料館	6.11.4
特別展 尾張彷徨	同上	"
もうすぐ歴史が見えてくる	秋田県埋蔵文化財センター	"
千葉県文化財センター研究紀要15	(財)千葉県文化財センター	6.11.7
豊橋市埋蔵文化財調査報告書第18集	豊橋市教育委員会	"
千歳市文化財調査報告書XX	千歳市教育委員会	6.11.9
のじぎく文化財だより第31号	(財)のじぎく文化財保護研究財団	"
東海の中世墓	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター	"
松山市埋蔵文化財調査年報Ⅵ	(財)松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター	6.11.10
松山市文化財調査報告書第44集	同上	"
第12回近畿地方埋蔵文化財研究資料	(財)大阪文化財センター	"
残照 本能寺からの織田一族	滋賀県立安土城考古博物館	"
二十年の歩み	(財)千葉県文化財センター	6.11.11
ウォーク・イン古代1 山武町の古墳	同上	"
(財)愛知県埋蔵文化財センター年報 平成5年度	(財)愛知県埋蔵文化財センター	6.11.14
愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第37・48~53・55・56集	同上	"
愛知県埋蔵文化財情報9	松本市教育委員会	"
松本市文化財調査報告No.15	同上	"
東海道の国分寺 その成立と変遷	栃木県しもつけ風土記の丘資料館	"
栃木県立しもつけ風土記の丘資料館年報第7号	同上	"
八王子千人同心の群像	八王子市郷土資料館	6.11.17
国立市文化財調査報告第35集	国立市教育委員会	6.11.18
新潟県埋蔵文化財調査報告書第61・64集	(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団	6.11.21
掘り起こされた房総の歴史	(財)千葉県文化財センター	"

書名	寄贈者	受入日
釧路市北斗遺跡Ⅳ	釧路市埋蔵文化財調査センター	6.11.21
釧路市北斗遺跡第1地点調査報告書Ⅱ	同上	〃
釧路市幣舞遺跡調査報告書Ⅱ	同上	〃
広島県立歴史博物館展示図録第12・13冊	広島県立歴史博物館	〃
暮らしの考古学展	同上	〃
お伊勢山遺跡の調査 第5部 鎌倉時代から江戸時代	早稲田大学所沢校地内文化財調査室	〃
岐阜県文化財保護センター調査報告書第13・15~18集	岐阜県文化財保護センター	6.11.22
浦和市遺跡調査会報告書第167・179・180・186集	浦和市遺跡調査会	〃
山武考古学研究所年報No.12	山武考古学研究所	6.11.24
平成6年度企画展「中世の横田」展示解説図録	袖ヶ浦市郷土博物館	〃
シンポジウム「関東の国分寺」資料編	田所 真	6.11.28
汐留遺跡	汐留地区遺跡調査会	6.12.2
企画展図録 古代の須恵器	富山県埋蔵文化財センター	〃
研究紀要第2号	栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター	〃
栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター年報第4号	同上	〃
浦和市内遺跡発掘調査報告書第21集	浦和市教育委員会	〃
広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第117~126・128・130集	広島県埋蔵文化財調査センター	6.12.5
年報Ⅸ 平成4年度	同上	〃
研究輯録Ⅳ	同上	〃
同志社大学文学部考古学調査報告第8・9冊	同志社大学考古学研究室	6.12.6
考古学と信仰 同志社大学考古学シリーズⅥ	同上	〃
栃木県埋蔵文化財調査報告第140・141集	栃木県教育委員会	6.12.8
群馬県埋蔵文化財調査事業団年報13	群馬県埋蔵文化財調査事業団	〃
尾張藩上屋敷跡遺跡発掘調査概要Ⅰ	東京都教育文化財団東京都埋蔵文化財センター	〃
尾張藩上屋敷跡遺跡発掘調査概要Ⅱ	同上	〃
埋蔵文化年報5 平成5年度	富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所	〃
縄文時代以降の松戸の海と森の復元	松戸市立博物館	〃
栃木県埋蔵文化財調査報告第108・112・142・144・146・148~151・154集	栃木県教育委員会	〃
のじぎく文化財だより第32号	のじぎく文化財保護研究財団	6.12.9
山武考古学研究所年報No.12	山武考古学研究所	6.12.15
文化財かわら版	山武郡市文化財センター	〃
葉佐池古墳	松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター	〃
大阪府文化財協会15年のあゆみ	大阪府文化財協会	〃
古代上総国の嶋穴駅と官道	市原市文化財研究会	〃
帝京大学山梨文化財研究所研究報告第5集	帝京大学山梨文化財研究所	〃
印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第69~71・75~78・83・87集	印旛郡市文化財センター	6.12.26
財団法人印旛郡市文化財センター年報9・10	同上	〃
第9回 泉州の遺跡展図録	大阪府埋蔵文化財協会	〃
下田遺跡発掘調査	同上	〃
大阪府埋蔵文化財協会調査報告書第71・78・80・81・83・85・86輯	同上	〃
北九州市埋蔵文化財調査報告書第130・141・142・144~150・153~159集	北九州市教育文化事業団	〃
埋蔵文化財調査室年報10平成4年度	同上	〃
研究紀要第8号	同上	〃
根岸遺跡発掘調査報告書(第4次)	浦和市遺跡調査会	〃
本郷中谷津遺跡 第9次調査	海老名市教育委員会	〃
天神Ⅰ遺跡、天神Ⅱ遺跡、西原遺跡、松葉慈学寺遺跡	甘楽町遺跡調査会	〃
大阪埋蔵文化財協会研究紀要2	大阪埋蔵文化財協会	〃

書名	寄贈者	受入日
和歌山市文化体育振興事業団調査報告書第7～10集	和歌山市教育委員会	6.12.26
のじぎく文化財だより第33号	(財)のじぎく文化財保護研究財団	7.1.6
中国出土古鏡図録	田所 真	7.1.9
仏画の鑑賞基礎知識	同上	〃
銅鏡図案	同上	〃
中国古代銅鏡	同上	〃
秦漢史論叢	同上	〃
中国古代青銅器	同上	〃
雲夢秦簡研究	同上	〃
民家の博物館 四国村	同上	〃
採集狩猟民の考古学	同上	〃
別府大学考古学研究室報告第1・3冊	同上	〃
柴又河川敷遺跡	同上	〃
中国南方古代印紋陶	同上	〃
よみがえった久保泉丸山遺跡	同上	〃
國學院大學文学部考古学実習報告第9・20集	同上	〃
尾張・三河地方における縄文時代中期後葉の土器型式	同上	〃
緊急文化財調査報告書	同上	〃
マンガ日本の歴史2	同上	〃
馬王堆漢墓	同上	〃
マンガ日本の歴史3～5	同上	〃
鎮西町文化財調査報告書第3集	同上	〃
神奈川県立博物館発掘調査報告書第8号	同上	〃
浦和市遺跡調査会報告書第46集	同上	〃
昭和63年度市立市川考古博物館年報	同上	〃
群馬県立歴史博物館紀要第3号	同上	〃
「能登の文化財」第23～25輯	同上	〃
植生史研究第1～9号・第1巻第1・2号・第2巻第1・2号	同上	〃
現代文化人類学	同上	〃
オオカミとイヌ	同上	〃
イモと日本人 民俗文化論の課題	同上	〃
古代日本の知恵と技術	同上	〃
マンガ日本の歴史8	同上	〃
弥生時代研究の展開	同上	〃
大阪府の埴輪 I	同上	〃
弥生時代の環濠集落をめぐる諸問題 I・II	同上	〃
米の未来学	同上	〃
川が大地をつくる	同上	〃
京都府埋蔵文化財情報第54号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	7.1.12
徳島県埋蔵文化財センター年報vol.5	(財)徳島県埋蔵文化財センター	〃
徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第3・4集	同上	〃
港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告18	港区立港郷土資料館	〃
埋蔵文化財調査報告書第53集	(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター	7.1.17
金沢遺跡	三島市教育委員会	〃
栃木県しもつけ風土記の丘資料館年報第8号	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館	〃
青森県埋蔵文化財調査報告書第161集	青森県埋蔵文化財調査センター	7.1.18
鹿児島大学構内遺跡郡元団地L-11・12地区	鹿児島大学埋蔵文化財調査室	7.1.19



書名	寄贈者	受入日
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第171集 博古研究第8号	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 博古研究会	7.1.20 "
平成6年度 千葉県遺跡調査研究発表会発表要旨	千葉県文化財法人連絡協議会	7.1.23
(財)枚方市文化財研究調査会研究紀要第3集	(財)枚方市文化財研究調査会	"
国立歴史民俗博物館研究年報2	国立歴史民俗博物館	"
大阪府立近つ飛鳥博物館要覧	大阪府立近つ飛鳥博物館	"
大阪府立近つ飛鳥博物館図録4	同上	"
遺跡探査No.12	奈良国立文化財研究所	"
片瀬山遺跡(宮畑北)発掘調査報告書	玉川文化財研究所	7.1.27
登戸-8遺跡(栢形山遺跡)発掘調査報告書	同上	"
稲荷台地遺跡群I地点発掘調査報告書	同上	"
国立歴史民俗博物館研究報告第58・59・61・62集	国立歴史民俗博物館	"
神奈川県立埋蔵文化財センター年報13	神奈川県立埋蔵文化財センター	"
かながわの弥生文化	同上	"
かながわの考古学 第4集	同上	"
館蔵考古展 考古資料からみた近江の歴史	滋賀県立安土城考古博物館	7.1.30
北区埋蔵文化財調査報告第12~15集	東京都北区教育委員会	"
北区史資料編考古1・2	北区史編纂室	7.2.1
福井県教育庁埋蔵文化財調査センター所報4	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター	"
福井県教育庁埋蔵文化財調査センター8 平成4年度	同上	"
第9回「大学と科学」公開シンポジウム古代に挑戦する自然科学	田所 真	7.2.2
シンポジウム 関東の国分寺 資料編	関東古瓦研究会	7.2.9
(財)広島市歴史科学教育事業団調査報告書第11~14集	(財)広島市歴史科学教育事業団	"
平成5年度第2回考古学教室感想文集	同上	"
第17回文化財展 はにわハニワ壇輪 古墳時代と国際交流	同上	"
総社市埋蔵文化財調査年報4 平成5年度	総社市教育委員会	"
流山市立博物館年報No.16	流山市立博物館	"
千葉県の歴史第46号	(財)千葉県史料研究財団	7.2.10
大阪府下埋蔵文化財研究会(第31回)資料	(財)大阪文化財センター	"
三室まどがけ古墳群	石川県立埋蔵文化財センター	"
正友ヤチャマ窯跡	同上	"
大津ロクベエ遺跡II	同上	"
軽海西芳寺遺跡	同上	"
金沢城跡石川門前発掘調査概要報告書	同上	"
和住下遺跡 1993年度発掘調査の概要	同上	"
能美丘陵東遺跡群I	同上	"
畝田遺跡	同上	"
石川県立埋蔵文化財センター年報第14号 平成4年度	同上	"
ムゼイオンNo.40	立教大学	"
かながわの弥生文化	伊丹徹	7.2.15
古代学研究所紀要第4輯	(財)古代学協会・古代学研究所	"
葛飾区遺跡調査会調査報告書第5集	葛飾区教育委員会	"
磯谷清市氏寄贈考古資料図録	豊田市教育委員会	"
第4回鈴鹿市埋蔵文化財展	鈴鹿市遺跡調査会	"
伊場遺跡遺物編6	浜松市教育委員会	7.2.20
伊場遺跡遺物編6 別冊図版	同上	"
吉倉B遺跡	富山県埋蔵文化財センター	7.2.22

書名	寄贈者	受入日
小杉流通業務団体内遺跡群第12次発掘調査概要No.15A 遺跡	富山県埋蔵文化財センター	7.2.22
富山県埋蔵文化財センター年報 平成5年度	同上	"
館蔵近世の絵画	世田谷区立郷土資料館	7.3.2
仙台市文化財調査報告書第192集	仙台市教育委員会	"
埋蔵文化財調査報告9 平成5年度	練馬区教育委員会	"
㈱印旛郡市文化財センター発表要旨 第2回遺跡発表会	㈱印旛郡市文化財センター	7.3.7
研究紀要第1号	㈱京都市埋蔵文化財研究所	"
平成2年度京都市埋蔵文化財調査概要	同上	"
松山市文化財調査報告書第46集	㈱松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター	"
大阪市文化財論集	㈱大阪市文化財協会	"
群馬町埋蔵文化財調査報告第38・39集	群馬町教育委員会	"
古代第98号	早稲田大学考古学会	"
史観第131冊	早稲田大学図書館	"
『遺跡探査』第3回公開シンポジウム講演予稿集	奈良国立文化財研究所	"
『遺跡探査』第3回研究成果検討会議論文集	同上	"
第3回研究成果検討会議論文集	同上	"
国府台5	和洋女子大学文化資料館	"
四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第15~17冊	㈱香川県埋蔵文化財調査センター	7.3.10
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XX-5・XX-7	㈱滋賀県文化財保護協会	7.3.13
柿木原遺跡	同上	"
加茂遺跡・一ノ坪遺跡発掘調査報告書	同上	"
小比江遺跡・太田遺跡	同上	"
鴨田遺跡発掘調査報告書Ⅲ	同上	"
千葉県文化財センター研究紀要16	㈱千葉県文化財センター	"
房総考古ライブラリー8	同上	"
浦和の遺跡 その時々のおまとめ	浦和市遺跡調査会	"
浦和市遺跡調査会報告書第176・178・187集	同上	"
守山市文化財調査報告書第39・52・53冊	守山市埋蔵文化財センター	"
第13回特別展 豊なる海 瀬戸内と豊後	大分市歴史資料館	"
東京都町田市木曾森野遺跡Ⅱ	町田木曾森野地区遺跡調査会	"
奈良国立文化財研究所年報1994	奈良国立文化財研究所	"
豊橋市埋蔵文化財調査報告書第21・22集	豊橋市教育委員会	"
横浜市歴史博物館常設展示案内	横浜市歴史博物館	7.3.14
のじぎく文化財だより第34号	㈱のじぎく文化財保護研究財団	7.3.23
山手2号古基発掘調査報告書	吉田町教育委員会	"
中島遺跡調査報告書	中島遺跡調査会	"
長野市民俗文化財調査報告書1	長野市立博物館	"
長野市立博物館紀要第2号	同上	"
東金市の文化財	東金市教育委員会	"
明野村文化財調査報告8	明野村教育委員会	"
芦屋市文化財調査報告第24・25集	芦屋市教育委員会	7.3.27
広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第127・129集	㈱広島県埋蔵文化財調査センター	"
㈱山武郡市文化財センター発掘調査報告書第19・20集	㈱山武郡市文化財センター	"
10年のあゆみ	㈱静岡県埋蔵文化財調査研究所	"
静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第25・31・43・50集	同上	"
大阪府埋蔵文化財協会研究紀要3	㈱大阪府埋蔵文化財協会	"
10年のあゆみ	同上	"

書名	寄贈者	受入日
平面梯川遺跡Ⅰ	(社)石川県埋蔵文化財保存協会	7.3.27
高松市埋蔵文化財調査報告第23・24集	高松市教育委員会	"
裏宿遺跡群・池の下遺跡調査報告書第2～4分冊	八王子市教育委員会	"
浜松市指定文化財 古墳 石室を見学できる古墳	浜松市教育委員会	"
灘・桜口遺跡	妙見山麓遺跡調査会	"
四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書X	(財)愛知県埋蔵文化財調査センター	7.3.29
千葉県文化財センター調査報告第242～255集	(財)千葉県文化財センター	"
千葉県文化財センター年報No.19 平成5年度	同上	"
研究連絡誌第39号	同上	"
(財)八尾市文化財調査研究会報告42～44	(財)八尾市文化財調査研究会	"
大森及び周辺地域の海苔生産用具	大田区立郷土博物館	"
東京都大田区郷土博物館紀要第5号	東京都大田区立郷土博物館	"
武蔵大学人文学会雑誌第26巻第3号	武蔵大学人文学会	"
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第204～208集	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	7.3.30
(財)君津郡市文化財センター発掘調査報告書第69・84・87・90・100・101集	(財)君津郡市文化財センター	"

# 市原市文化財センター年報

(平成6年度)

平成9年3月31日 発行

発行 財団法人 市原市文化財センター  
〒290 千葉県市原市能満1489番地  
TEL 0436(41)9000

印刷 三陽工業株式会社  
〒290 千葉県市原市五井5510の1  
TEL 0436(22)4348